

## 第9号議案 平成30年度長崎市一般会計予算

| 目次 |                            | 説明書<br>記載頁                      |
|----|----------------------------|---------------------------------|
| 1  | 市民提案型協働事業実施費               | P 1 ~ 2 (P108~P113)             |
| 2  | 特別支援教育充実費                  | P 3 ~ 5 (P280~P283)             |
| 3  | 平和教育指導費                    | P 6 ~ 7 ( " )                   |
| 4  | 学力向上推進費                    | P 8 ~ 12 ( " )                  |
| 5  | 通学対策費                      | P 13 ~ 14 ( " )                 |
| 6  | 「長崎の宝」発見発信学習推進費            | P 15 ( " )                      |
| 7  | 高校生等入学給付金                  | P 16 ~ 17 ( " )                 |
| 8  | 要保護及び準要保護児童就学援助費           | P 18 (P284~P285)                |
|    | 要保護及び準要保護生徒就学援助費           | P 18 (P288~P289)                |
| 9  | 耐力度調査費(小学校・中学校)            | P 19 ~ 21 (P282~P285、P286~P289) |
| 10 | 学校維持補修費・学校建設費総括表           | P 22 ~ 24                       |
| 11 | 学校トイレ洋式化推進事業について           | P 25                            |
| 12 | 小学校整備検討推進費                 | P 26 ~ 27 (P286~P287)           |
| 13 | 【補助】小学校整備事業費 仁田佐古小校舎等建設    | P 28 ~ 38 ( " )                 |
| 14 | 【補助】小学校整備事業費 伊良林小校舎等改築     | P 39 ~ 46 ( " )                 |
| 15 | 【補助】小学校整備事業費 外海黒崎小プール改築    | P 47 ~ 49 ( " )                 |
| 16 | 【補助】小学校整備事業費 大規模改造         | P 50 ~ 53 ( " )                 |
| 17 | 【単独】小学校整備事業費 西浦上小校舎等改築     | P 54 ~ 56 ( " )                 |
| 18 | 【単独】小学校整備事業費 小島小取付道路       | P 57 ~ 58 ( " )                 |
| 19 | 【単独】小学校整備事業費 大規模改造         | P 59 ~ 60 ( " )                 |
| 20 | 【単独】小学校整備事業費 諸工事           | P 61 ~ 64 ( " )                 |
| 21 | 中学校維持補修費・校舎等維持補修費          | P 65 ~ 67 (P288~P289)           |
| 22 | 【補助】中学校整備事業費 外海中学校校舎等建設    | P 68 ~ 76 (P288~P291)           |
| 23 | 【補助】中学校整備事業費 大規模改造         | P 77 ~ 78 ( " )                 |
| 24 | 【単独】中学校整備事業費 大規模改造         | P 79 ~ 80 ( " )                 |
| 25 | 【単独】中学校整備事業費 諸工事           | P 81 ~ 82 ( " )                 |
| 26 | 【単独】高等学校整備事業費 諸工事          | P 83 ~ 85 (P292~P293)           |
| 27 | 社会教育総務費事務費                 | P 86 (P296~P297)                |
| 28 | 市立図書館運営費                   | P 87 ~ 88 (P304~P305)           |
| 29 | 【単独】図書館施設整備事業費 香焼図書館       | P 89 ~ 92 ( " )                 |
| 30 | 【単独】科学館施設整備事業費 科学館設備整備     | P 93 ~ 95 (P304~P307)           |
| 31 | 恐竜化石等研究調査費                 | P 96 ~ 101 (P306~P307)          |
| 32 | 【単独】恐竜博物館整備事業費 恐竜博物館建設     | P 102 ~ 104 ( " )               |
| 33 | 給食調理等運営費                   | P 105 ~ 106 (P308~P311)         |
| 34 | 長崎市学校給食会補助金                | P 107 ( " )                     |
| 35 | 学校給食費公会計準備費                | P 108 ( " )                     |
| 36 | 【単独】学校給食施設整備事業費 学校給食センター建設 | P 109 ~ 133 ( " )               |
| 37 | 【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館設備整備   | P 134 ~ 135 (P314~P317)         |

教育委員会

平成30年2月



| 予 算 説 明 書   |          |            |            |      | 事 業 名            | 予 算 額     |
|-------------|----------|------------|------------|------|------------------|-----------|
| ページ         | 款        | 項          | 目          | 番号   |                  |           |
| 108～<br>113 | 2<br>総務費 | 1<br>総務管理費 | 1<br>一般管理費 | 11-3 | 市民提案型協働事業<br>実施費 | 千円<br>640 |

## 1 概 要

平成 29 年度に引き続き、市民提案型協働事業を活用し、児童・生徒の体力の向上を図る。

## 2 事業内容

アスレティックトレーナーによる子どもの体力向上事業

### (1) 目 的

体力の基礎である柔軟性を中心とした講習会や相談会をアスレティックトレーナー長崎県協議会と協働で行う。小・中学生が、体育時間だけでなく、日常生活での姿勢や簡単な運動をすることで、柔軟性を向上させ、成長期の身体に深く興味を持ち、自立して健康管理をできるようにし、教職員の体力向上に関する知識を深め、技術の向上を図る。

### (2) 開催期間

平成 30 年 4 月～平成 31 年 2 月

### (3) 内 容

ア 開催場所 小学校・中学校の体育館または教室

イ 実施校 平成 30 年度(新規)実施校：小・中学校 各 3 校 (計 6 校)  
平成 29 年度(継続)実施校：小・中学校 各 3 校 (計 6 校)  
合計 12 校

ウ 回 数 平成 30 年度(新規)実施校：1 校あたり 4 回 (計 24 回)  
平成 29 年度(継続)実施校：1 校あたり 1 回 (計 6 回)  
合計 30 回

エ 実施内容 講義 20 分+実技講習 100 分 (相談会含む)

| 実施回数                 | 講義・実技内容  | 時 期          |
|----------------------|--|--------------|
| 第 1 回<br>(4 月～7 月)   | 1) 発育期の体の特徴について<br>2) 自宅でできるストレッチ・ラジオ体操・柔軟性チェック    | 夏休み前         |
| 第 2 回<br>(9 月～10 月)  | 1) 運動と食事の重要性について<br>2) 教室でもできる椅子を使用したストレッチ         | 2 学期<br>開始直後 |
| 第 3 回<br>(11 月～12 月) | 1) 運動と休養について (睡眠の重要性)<br>2) 弾む運動・動きを取り入れたストレッチ     | 冬休み前         |
| 第 4 回<br>(1 月～2 月)   | 1) まとめ (発育期・運動・食事・睡眠のつながり)<br>2) ストレッチのまとめ・柔軟性チェック | 3 学期中        |

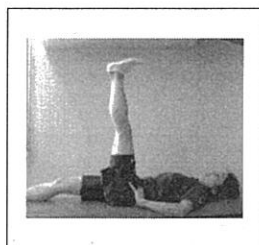
### (4) 講 師

アスレティックトレーナー長崎県協議会 (略称：AT 協議会)

日本体育協会公認アスレティックトレーナー (柔道整復師・理学療法士等)

(5) 実施例

身長が伸びて体が硬くなる時期にしっかりと柔軟性を向上・維持して将来のケガを予防し、自分の体の状態を日頃からチェックし、自分の体に興味を持ち、よく知る。



3 平成 29 年度実施状況

(1) 実施校

- ・小学校…為石小学校（17名）、諏訪小学校（149名）、西坂小学校（53名）
- ・中学校…大浦中学校（102名）、梅香崎中学校（78名）、小島中学校（112名）

(2) 実施回数

全6校 合計20回

(3) 成果（アンケートより）

- ・運動、食事、睡眠の重要性がわかった。
- ・体が少し柔らかくなった。前屈で指や手のひらがつくようになった。
- ・運動時間「0」の児童生徒が減った。
- ・体が軽くなった。
- ・怪我が減った。
- ・自分の体に関心を持ち、クラブ前のストレッチを意識するようになった。

(4) 課題（アンケートより）

- ・児童生徒の運動習慣が定着するように工夫が必要。
- ・事業の時間調整が難しかった。

4 財源内訳

| 事業費 | 財 源 内 訳 |      |     |      |      |
|-----|---------|------|-----|------|------|
|     | 交付金     | 県支出金 | 地方債 | その他※ | 一般財源 |
| 千円  | 千円      | 千円   | 千円  | 千円   | 千円   |
| 640 | —       | —    |     | 640  | —    |

※伝習所基金繰入金

| 予 算 説 明 書   |           |            |           |     | 事 業 名     | 予 算 額         |
|-------------|-----------|------------|-----------|-----|-----------|---------------|
| ページ         | 款         | 項          | 目         | 番号  |           |               |
| 280～<br>283 | 10<br>教育費 | 1<br>教育総務費 | 5<br>教育諸費 | 1-2 | 特別支援教育充実費 | 千円<br>169,823 |

## 1 概 要

発達障害を含む障害のある児童生徒の自立や社会参加に向け、特別支援教育支援員による適切な指導及び必要な支援ができるよう特別支援教育の充実を図る。

## 2 事業内容

### (1) 特別支援教育支援員の配置 (160,179千円)

通常学級及び特別支援学級において、児童生徒への個別の教育的支援の充実と学校教育活動の円滑化を図る。平成30年度においては、29年度と同様に、支援員の支援を必要と認める全ての小・中学校に配置するため、支援員を120人配置してよりきめ細やかな対応に努める。

#### ア 配置基準

- ・知的障害特別支援学級においては、在籍児童生徒が6人以上の場合
- ・肢体不自由特別支援学級及び自閉症・情緒障害特別支援学級等において、児童生徒の障害の実態によりその必要性を認める場合
- ・通常の学級においては、児童生徒の障害の実態によりその必要性を認める場合
  - \* 「必要性を認める場合」とは、教育支援委員会からの助言をいただき、長崎市教育委員会が認めた場合のこと。

#### イ 業務内容

- ・基本的な生活習慣確立のための日常生活の支援
- ・障害の特性に合わせた学習活動支援、教室間移動等における介助
- ・学校生活における安全の確保
- ・学校行事等における介助・支援
- ・周囲の児童生徒への障害理解促進
- ・前号に掲げるものの他、学校運営に関し学校長が必要と認めること

#### ウ 実績及び予定

|                   | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度(予定) |
|-------------------|------|------|------|----------|
| 支援員数              | 91人  | 118人 | 119人 | 120人     |
| 支援員が必要と認められる児童生徒数 | 148人 | 226人 | 266人 | 283人     |

#### (参考資料)

|                      | 27年度 | 28年度  | 29年度  | 30年度  |
|----------------------|------|-------|-------|-------|
| 学校からの「気になる児童生徒」の報告人数 | 869人 | 1421人 | 1742人 | 2046人 |

(2) 巡回相談の実施 (1,244 千円)

発達障害等に関する専門家を小中学校に派遣することにより、発達障害を含む障害のある児童生徒の早期発見及び早期対応を図る。

ア 大学等の専門家 (実施回数 年間 80 回、1 回 3 時間、5,000 円×3 時間=15,000 円)

イ 特別支援学校の教員 (実施回数 年間 350 回、1 回 3 時間 ※市の支出は交通費のみ)

(3) 早期支援コーディネーターの配置 (6,452 千円)

小学校への入学に際し、発達障害を含む障害のある幼児がそれぞれの障害や特性に合わせた教育を継続できるよう、保護者や関係機関などと連携を図りながら指導上必要な情報集約を行い、その情報を確実に就学先に引き継ぐとともに、子どもたち一人ひとりを系統的に支援していただくためのサポートファイルの活用を充実させることを目的として、早期支援コーディネーター3人を配置する。

(4) 特別支援に関する研修会の実施 (151 千円)

特別な支援を必要とする児童生徒に関わる教職員等が、特別支援教育に関する基本的な知識や指導の在り方等を習得するための研修会を実施する。

(5) 特別支援教育交流会の実施 (759 千円)

児童生徒の相互交流や共同学習を通して、相互理解を図る。

ア 小学校中学校特別支援学級交歓会

イ ふれあい体験学習

ウ 地域交流推進事業

(6) 教育支援委員会の実施 (385 千円)

障害のある就学児や教育上特別な配慮を必要とする児童生徒の適切な就学措置について調査及び審議するため、長崎市附属機関に関する条例に基づき設置された機関であり、小児科、眼科、耳鼻科、整形外科、精神科の医師、また、教育学、心理学が専門の学識経験者、さらに、福祉関係職員、教職員など障害児の教育に関する専門家計 14 人によって構成する。

※上記以外に事務経費 653 千円

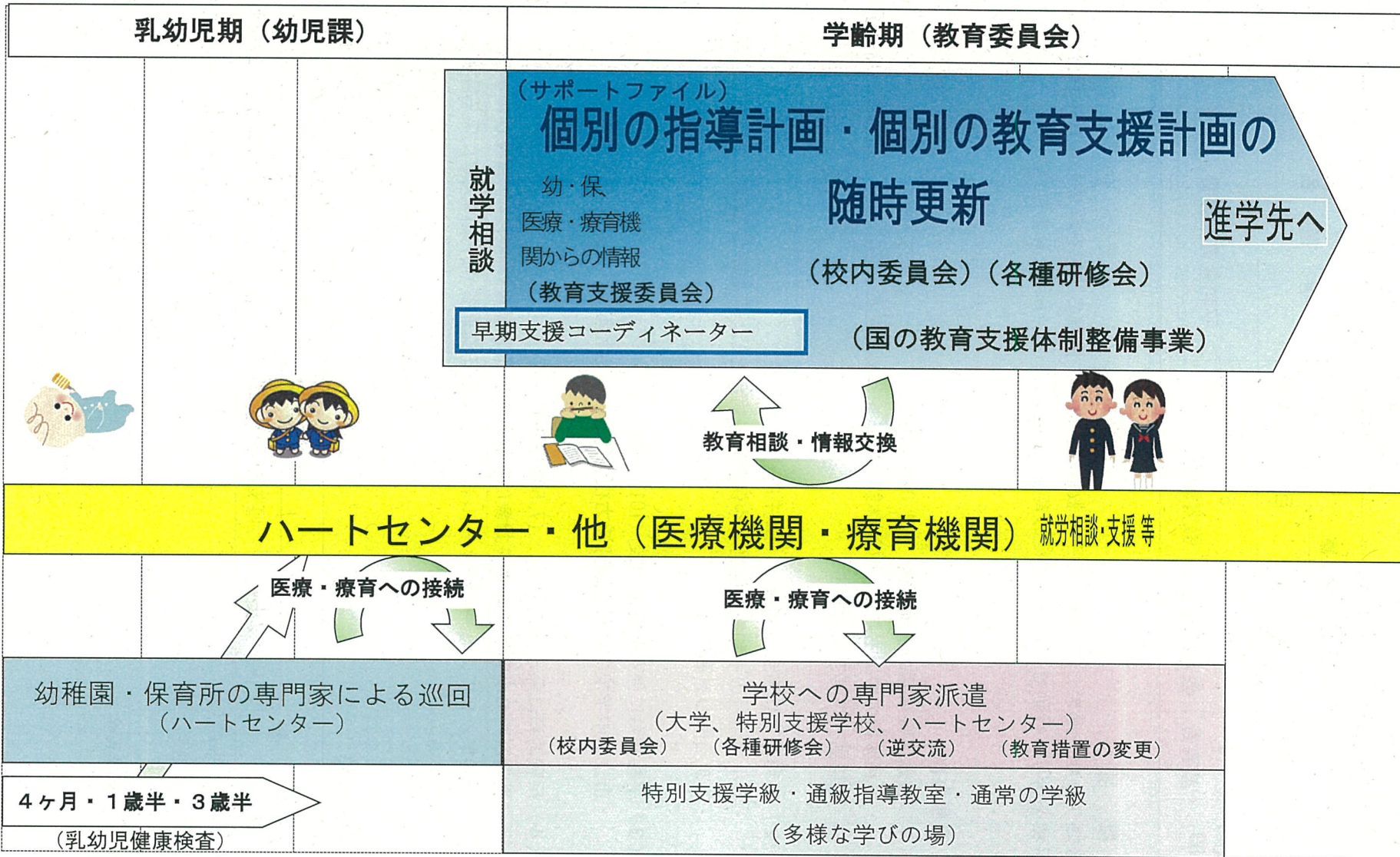
3 財源内訳

| 事業費     | 財源内訳    |      |     |       |         |
|---------|---------|------|-----|-------|---------|
|         | 国庫支出金※1 | 県支出金 | 地方債 | その他※2 | 一般財源    |
| 千円      | 千円      | 千円   | 千円  | 千円    | 千円      |
| 169,823 | 5,125   | —    | —   | 398   | 164,300 |

※1 教育支援体制整備事業費補助金 (補助率 1/3)

※2 保険料個人負担金

0歳 1歳半 3歳半 (5歳) 6歳 12歳 15歳 18歳



継続支援

早期発見・早期対応

| 予 算 説 明 書   |           |            |           |     | 事 業 名   | 予 算 額       |
|-------------|-----------|------------|-----------|-----|---------|-------------|
| ページ         | 款         | 項          | 目         | 番号  |         |             |
| 280～<br>283 | 10<br>教育費 | 1<br>教育総務費 | 5<br>教育諸費 | 1-4 | 平和教育指導費 | 千円<br>8,730 |

### 1 概 要

被爆70年を過ぎ、これまでの平和教育を見直し、他者の意見を尊重しながら自分の言葉で平和を語り、行動できる児童生徒の育成をめざす新しい平和教育を推進する。

### 2 事業内容

- (1) 被爆体験講話の講師派遣 (1,026千円)
  - ・平和教育の中でも特に、被爆体験の継承を進めるため、各学校で実施している被爆体験講話へ講師を派遣する。
- (2) 平和教育講演会の実施 (10千円)
  - ・各小中学校の平和教育担当者や保護者を対象とした平和教育講演会を開催し、平和に対する関心を高める。
- (3) 平和教育に係る研究協力校 (101千円)
  - ・市立小中学校の中から研究協力校を選定し、平和教育の推進を図る。
- (4) 平和教育に係る体験学習 (7,593千円)
  - ・長崎市内の小中学校5年生を対象に実施している原爆資料館見学学習及び中学生1年生を対象としている平和フィールドワークに係る交通費や、案内人等に係る謝礼金を支出する。

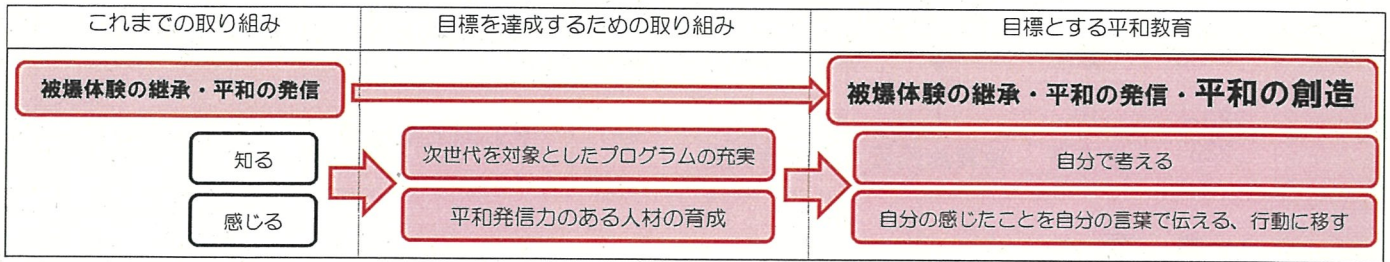
### 3 財源内訳

| 事 業 費       | 財 源 内 訳 |         |         |             |         |
|-------------|---------|---------|---------|-------------|---------|
|             | 国庫支出金   | 県支出金    | 地 方 債   | そ の 他※      | 一般財源    |
| 千円<br>8,730 | 千円<br>- | 千円<br>- | 千円<br>- | 千円<br>8,730 | 千円<br>- |

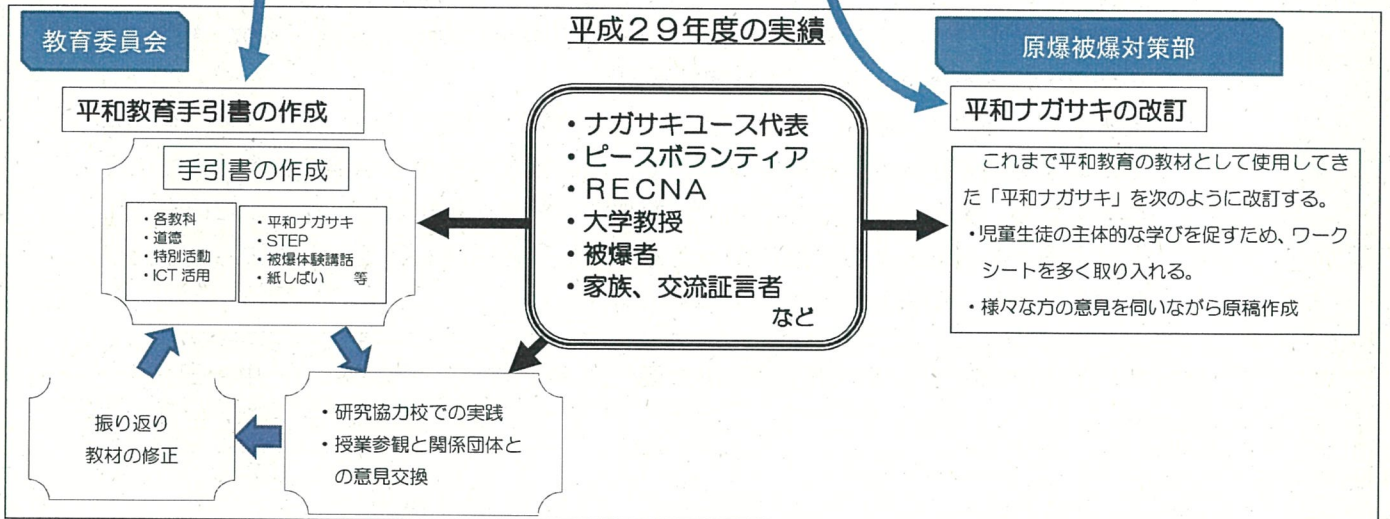
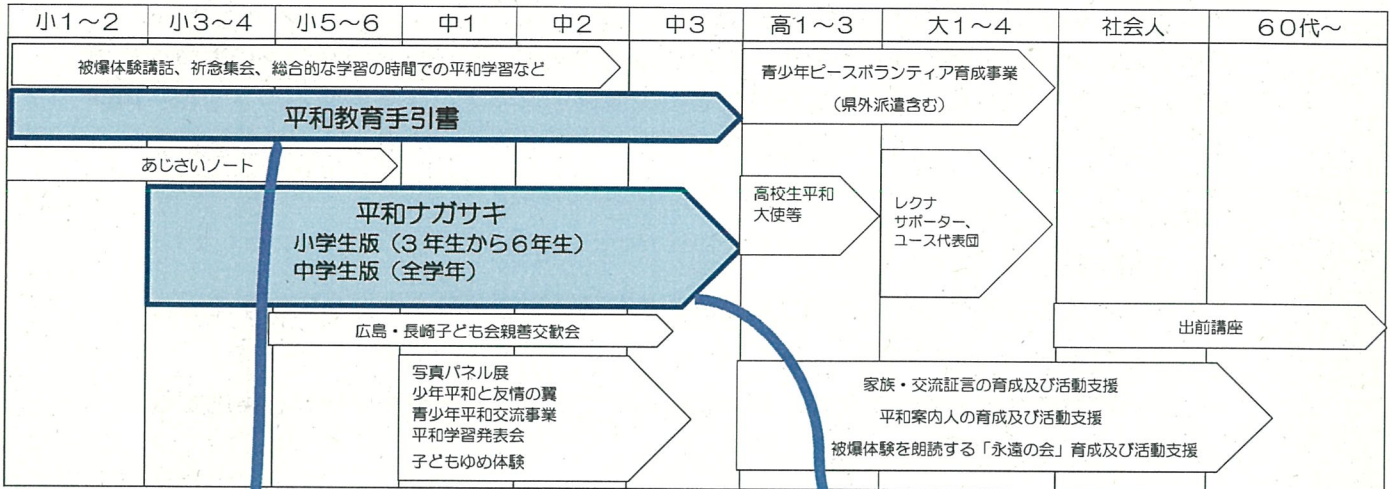
※教育基金繰入金



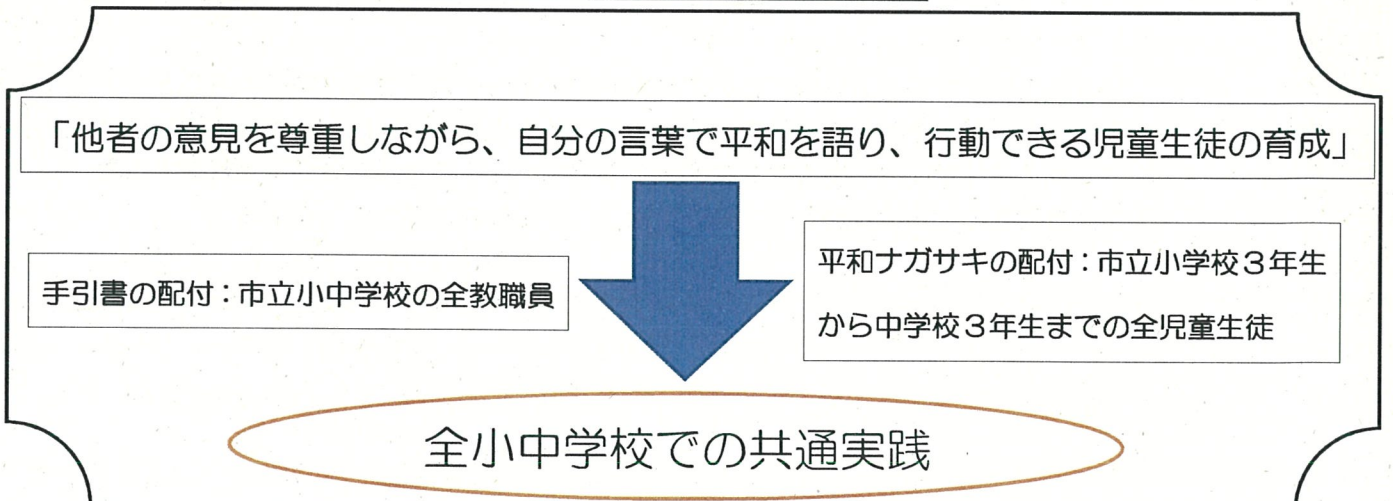
# 生涯平和学習プログラムイメージ



被爆70年を過ぎた今、これまでの平和教育を見直し、これからの世代に向けた新しい平和教育の指針を作成する。



## 平成30年度の予定



| 予 算 説 明 書   |           |            |           |     | 事 業 名   | 予 算 額        |
|-------------|-----------|------------|-----------|-----|---------|--------------|
| ページ         | 款         | 項          | 目         | 番号  |         |              |
| 280～<br>283 | 10<br>教育費 | 1<br>教育総務費 | 5<br>教育諸費 | 1-7 | 学力向上推進費 | 千円<br>10,658 |

## 1 概 要

教科指導等の研修会開催や研究指定を行い、教師の指導力向上をめざす。また、長崎市立のすべての小中学校において小学校3、4年生と中学校1年生の学力テストを実施する。このことにより、小学校低学年での学力を客観的に測り、早い段階から個々の児童生徒の課題に沿った細やかな学習指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図る。さらに、中学校2年生の「英検 I B A」（英語能力測定テスト）を実施し、英語の学力向上を図る。

## 2 事業内容

### (1) 市研究指定 (1,625 千円)

- ・指導法の改善や教職員の資質向上のため各種研修会や研究指定を実施する。

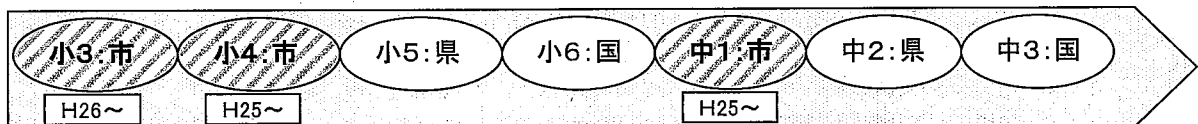
### (2) 県研究指定 (555 千円)

- ・県教育委員会の委託を受け、指定校において指導法の改善等の研究を実施する。

### (3) 小3・4、中1標準学力テスト

(国語、算数・数学) (6,650 千円) (@350 円×9,499 人×2 教科)

- ・長崎市立のすべての小学校3、4年生と中学校1年生に対して国語と算数・数学の標準学力テストを実施する。(4月実施予定)
- ・全国学力・学習状況調査(小6・中3)、長崎県学力調査(小5・中2)と、合わせて市の学力調査が相互に補完することで、小学校3年生から中学校3年生までの7か年に渡り、児童生徒の学力の細やかな把握や経年比較が可能となる。このことにより、個々の児童生徒の課題に沿った細やかな学習指導を行うとともに、小中連携の強化により、継続した学力向上に努める。



### (4) 中2、英検 I B A (英語) (1,728 千円) (@580 円×2,979 人)

- ・英語によるコミュニケーション能力の育成及び国が求める英検3級相当の英語力定着(中3で50%の生徒が到達)の達成を図るため、英語能力測定テスト「英検 I B A」を中学2年生で実施する。
- ・英語力の到達状況やその推移についての客観的なデータを各生徒に提示することで、生徒たちの課題改善や学習意欲向上、その後の英検受験につなげる。また、実施後に提供される英検級レベル別人数分布や技能別正答率、不得意分野の分析資料等を教職員の授業改善のための資料として有効活用し、教職員の指導力向上を図る。



※ H26～29 まで実施の NRT 調査を英検 IBA に変更

- (5) 研究会の開催費補助金 (100 千円)
- ・九州地区中学校国語科教育研究大会 (50 千円)
  - ・九州地区理科教育研究大会 (50 千円)

### 3 財源内訳

| 事業費    | 財源内訳  |        |     |       |       |
|--------|-------|--------|-----|-------|-------|
|        | 国庫支出金 | 県支出金※1 | 地方債 | その他※2 | 一般財源  |
| 千円     | 千円    | 千円     | 千円  | 千円    | 千円    |
| 10,658 | —     | 555    | —   | 1,728 | 8,375 |

※1 教育課程研究等補助金 (補助率 100%)

※2 教育基金繰入金

## 英検 IBA と NRT との比較

|  | 英検 IBA  | N R T (H26~29 中2で実施)   |
|--|---|--|
| 正式名称   | Institution Based Assessment<br>＝機関ベースの客観的評価  | Norm Referenced Test<br>＝標準学力調査  |
| 評価方法等  | 英語能力測定テスト<br>・英検尺度 (CSE) と <u>国際基準尺度 (CEFR)</u> に照らし、到達度を評価するもの   | 相対評価法による検査<br>・全国基準に照らして相対的に学力を評価するもの  |
| 問題の内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「英検」の問題再利用 (該当学年を含む幅広い範囲の内容)</li> <li>・「話す」「聞く」が重視された問題 (リスニング 20 分)</li> <li>・問題数 約 65 問</li> </ul> <p>* 全て英文による出題。長文問題や会話形式の問題が重視されるなど、4 領域 (聞・話・読・書) の統合的な活用力の評価に長けている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則、毎年同一問題 (該当学年限定の内容)</li> <li>・4 領域を網羅した問題 (リスニング 10 分)</li> <li>・問題数 約 40 問</li> </ul> <p>* 出題形態としては、知識を問う問題がほとんどである。会話形式の問題はあるが、一問一答に留まる。</p> |
| 価格   | 580 円   | 340 円  |
| 結果提供に要する期間   | 提出後 3 週間程度  | 提出後 1 ヶ月程度   |
| 結果票の内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英検級レベル<br/>＝英検を受けた場合の位置</li> <li>・CSE スコア<br/>＝国際基準規格である CEFR と関連性を持たせて開発したユニバーサルなスコア尺度</li> <li>・以前に受験した結果</li> </ul>  | <p>観点グラフ<br/>＝目標値に対する到達度のグラフ</p>   |
| 特長<br><br>* 今後の大学入試においては、4 技能の統合的活用を意識した問題への対応力が求められる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「3 級レベル」と判定された生徒数を、全国や県と比較することによって、学校毎や市全体の学力の状況を把握できる。<br/>(文科省が指標として「英検 3 級到達」を掲げており、学力の検証につながる。)</li> <li>・<u>結果が合否ではないため、苦手意識がある生徒の抵抗感を軽減でき、自発的な英検受験につなげることができる。</u></li> </ul> <p>* 2020 年度の大学入試から、センター試験ではなく、英検等の民間資格・検定試験が活用されることになるため (2023 年度までは共通テストとの併用、2024 年度以降完全実施)、<u>英検 IBA の実施は、民間試験資格を要する時代の変化に対応するものである。</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に対する相対的位置付けがグラフ等で表示されるため、全国と比較して見ることができる。</li> </ul>  |

# 平成30年度 学力調査を検証軸とした学力向上の取組（案）

## ◆学力調査の活用◆

- ・調査結果を基にした学力向上プランの活用（取組の重点化と検証方法の明確化）
- ・課題改善を図る授業、改善結果の把握
- ・調査結果分析資料の作成、提供

## ◆「あじさいスタンダード」 「学力調査分析・改善資料」の活用◆

- ・授業改善の指針としての再確認
- ・「体力づくり編」の活用
- ・課題に応じた授業改善例等を示した資料の作成、活用

## ◆「あじさいBOX」 「あじさい通信」の活用◆

- ・練習問題プリント、学力調査の過去問や関連教材の掲載（あじさいBOX）
- ・学力向上に向けた各種情報の発信（あじさい通信）

自ら考え、表現できる  
確かな学力を身に付けた子どもの育成

チームNagasaki

「徹底・継続」で子どもはのびる！

## ◆寺子屋事業の実施◆

- ・＜小学校＞長崎寺子屋事業の充実
- ・＜中学校＞英語寺子屋事業の拡大（「RISE UP ENGLISH」活用）

## ◆教師の指導力向上①◆

- ・校長会との連携による研修会の充実
- ・学校訪問（個別指導）の実施
- ・教科等研究校の指定と指導主事派遣

## ◆教師の指導力向上②◆

- ・基礎的な授業実践力の育成（めあて、まとめ、練習、計画的板書、ICT活用）
- ・基礎学力の定着を図る授業、「考えやその理由を書く力」を伸ばす授業の充実

## ◆学びを支える素地づくり◆

- ・望ましい学級集団づくり
- ・学習規律の確立
- ・保護者、地域、関係団体との連携

- ・キャリア教育
- ・図書館教育
- ・国際理解教育

- ・幼保小連携、「あ・は・は」運動
- ・小中連携教育

国語  
算数・数学

小3:市  
標準学力調査NRT

小4:市  
標準学力調査NRT

小5:県

小6:国

中1:市

中2:県

中3:国

英語

小6:市

中1:市

中2:市

中3:県

校内イングリッシュ検定 ※0予算

英検IBA

自ら考え、表現できる  
確かな学力を身に付けた子ども

将来の夢や希望を自らの言葉で語り、  
実現に向けて努力している子ども

長崎市学力調査を実施し、各種学力調査を「継続した学力向上の取組」の検証軸とする

## 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

### 1 学力調査結果の概要(「長崎市及び県・全国の平均正答率」、「全国との差」)

※ 数値単位は、%

|     |         | 小学校 6 年 |     |     |     | 中学校 3 年 |     |     |     |
|-----|---------|---------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|
|     |         | 国語A     | 国語B | 算数A | 算数B | 国語A     | 国語B | 数学A | 数学B |
| H29 | 長崎市の正答率 | 74      | 57  | 77  | 44  | 78      | 73  | 66  | 49  |
|     | 県の正答率   | 73      | 56  | 78  | 43  | 77      | 72  | 64  | 48  |
|     | 全国の正答率  | 75      | 58  | 79  | 46  | 77      | 72  | 65  | 48  |
|     | 全国との差   | -1      | -1  | -2  | -2  | +1      | +1  | +1  | +1  |

※ 平成28年度の結果から、教科毎の平均正答率については、「整数」で示すように変更となった。

<参考> 平成26年度の小学校6年生(現中学校3年生)の学力調査結果

|     |         | 小学校 6 年 |      |      |      |
|-----|---------|---------|------|------|------|
|     |         | 国語A     | 国語B  | 算数A  | 算数B  |
| H26 | 長崎市の正答率 | 70.4    | 54.1 | 77.1 | 57.5 |
|     | 県の正答率   | 71.9    | 53.5 | 78.0 | 57.2 |
|     | 全国の正答率  | 72.9    | 55.5 | 78.1 | 58.2 |
|     | 全国との差   | -2.5    | -1.4 | -1.0 | -0.7 |

○ 全国的に上位県と下位県の差が縮小する傾向が続いており、都道府県レベルでは大きな差は見られなくなっている。長崎市の結果については、全体として概ね全国平均と同等であると捉えている。

小・中学校別に平均正答率を見ると、調査8項目中、中学校の4項目が全国を上回り、小学校の4項目が全国を下回った。下回っている4項目の中では、算数がA・B問題ともに全国を1ポイントを超えて下回り、課題が大きい。

中学校においては、昨年度及び平成26年度と比較し、大きな改善が見られた。

### 2 学習に関する課題の傾向と改善の方向性

| 課題の傾向   | 改善の方向性   |
|---|--|
| ● 小学校は、国語・算数のA問題B問題ともに正答率が全国に比べ低い。特に、知識に関するA問題については、継続課題が改善されていない。                  | ○ 小学校の改善方策について、校長会と一層連携を強化し、全市的な重点取組を決定・実施する。<br>○ 基礎・基本定着のための方策の徹底・継続を図る。       |
| ● 小・中学校ともに、自分の考えやその理由を書きまとめたり、話したり、工夫して発表したりするなどの学習経験等が全国に比べて低く、小学校の方がその差が大きい傾向にある。 | ○ 小・中学校ともに、引き続き、基礎・基本定着に係る全校一斉取組の徹底・継続を図るとともに、特に「自分の考えやその理由等を書く力」を伸ばす授業づくりを推進する。 |
| ● 小・中学校ともに、特にB問題において、「解答時間は十分だった」と感じている児童生徒が全国に比べて低い。                               | ○ 一定時間内で行う「長文読解」や「条件作文」等を位置付けた授業を実施する。   |

| 予 算 説 明 書   |           |            |           |      | 事 業 名 | 予 算 額        |
|-------------|-----------|------------|-----------|------|-------|--------------|
| ページ         | 款         | 項          | 目         | 番号   |       |              |
| 280～<br>283 | 10<br>教育費 | 1<br>教育総務費 | 5<br>教育諸費 | 1-14 | 通学対策費 | 千円<br>83,884 |

## 1 概 要

市立小中学校に遠距離通学をする児童生徒の保護者に対し、通学費の補助を行い、保護者の経済的負担の軽減を図るもの。

現在、公共交通機関を利用し、小学校が4 km以上、中学校が6 km以上を通学する児童生徒を対象に、運賃実費額の全額を補助しているが、児童生徒の通学にかかる体への負担軽減や安全確保のため、距離基準の見直しを行い、通学費補助を拡大するもの。

## 2 事業内容

### (1) 通学費補助の拡大

公共交通機関を利用して通学する児童生徒で、小学校は2 km以上4 km未満、中学校は3 km以上6 km未満となる場合を対象に、運賃実費額の1/2を補助する。

### (2) 距離要件見直しに伴う影響額

| 区分  | 距離区分   | 平成30年度予算  |           | 合 計       |
|-----|--|-----------|-----------|-----------|
|     |  | 小学校       | 中学校       |           |
| 拡大  | 小学校：2 km以上4 km未満<br>中学校：3 km以上6 km未満<br>(1/2 補助) | 2,000 人   | 600 人     | 2,600 人   |
|     |  | 36,889 千円 | 22,694 千円 | 59,583 千円 |
| 現行  | 小学校：4 km以上<br>中学校：6 km以上<br>(全額補助)               | 262 人     | 336 人     | 598 人     |
|     |  | 7,510 千円  | 16,791 千円 | 24,301 千円 |
| 合 計 |  | 2,262 人   | 936 人     | 3,198 人   |
|     |  | 44,399 千円 | 39,485 千円 | 83,884 千円 |

## 3 財源内訳

| 事業費          | 財 源 内 訳     |         |         |         |             |
|--------------|-------------|---------|---------|---------|-------------|
|              | 国庫支出金※      | 県支出金    | 地方債     | その他     | 一般財源        |
| 千円<br>83,884 | 千円<br>1,211 | 千円<br>- | 千円<br>- | 千円<br>- | 円<br>82,673 |

※国庫支出金は統廃合（外海黒崎小学校、尾戸小学校、黒崎中学校）が対象。

## 通学費補助の見直しにあたって

### 1 通学にかかる意見等について

#### (1) 適正配置の意見交換会における保護者・地域からの意見

- ・小学生4km、中学生6kmはとんでもない距離で考え直すべきだ。
- ・小学生でランドセルも重く、まだ体もできていないのに徒歩での4kmはあり得ない。
- ・子ども(中学生)の荷物が12kgを超えており、成長期なのに過度の疲労や骨盤のゆがみが心配。毎日徒歩で到底通学できる距離ではない。

#### (2) 長崎市立学校通学区域審議会による附帯意見

小学校4km以上、中学校6km以上の場合、バス等の交通機関の利用を認めるものとしているが、学校の統廃合に伴い通学区域が拡大することから、遠距離通学による児童生徒の心身の負担や、通学時の安全の確保等の観点から、慎重な検討が必要である。

また、斜面地の多い本市の地理的な特性をふまえ、各学校における児童生徒の通学の実情等を十分に調査・分析のうえ、通学時間を含め、引き続き検討を要する。

### 2 実態調査の結果

#### (1) 各学校で最も遠いところから徒歩で通学している児童生徒の通学時間の平均値

|     | 平均通学時間 | } 約40分 |
|-----|--------|--------|
| 小学校 | 37.9分  |        |
| 中学校 | 42.8分  |        |

#### (2) 徒歩で通学している児童生徒の実態調査

| 小学校         | 通学時間  | 割合          | 中学校  | 通学時間  | 割合    |
|-------------|-------|-------------|------|-------|-------|
|             | 40分未満 | 93.1%       |      | 40分未満 | 86.8% |
| 40分以上 60分未満 | 4.9%  | 40分以上 60分未満 | 7.2% |       |       |
| 60分以上       | 2.0%  | 60分以上       | 6.0% |       |       |

#### (3) 児童生徒の平均歩行速度

|     | 平均歩行速度  | } 小学校は中学校の約7割 |
|-----|---------|---------------|
| 小学校 | 49.3m/分 |               |
| 中学校 | 64.3m/分 |               |

### 3 距離の算定

※実態調査による平均通学時間①×平均歩行速度②

小学生 49.3m/分 × 37.9分 ≒ 2km

中学生 64.3m/分 × 42.8分 ≒ 3km

### 4 補助率について

斜面地が多い地理的な状況から、片道のみを公共交通機関を利用する場合があることや、引き続き公共交通機関を利用しない児童生徒もいることから、徒歩通学の児童生徒との均衡も考慮して補助率を1/2とする。



| 予 算 説 明 書   |           |            |           |      | 事 業 名           | 予 算 額       |
|-------------|-----------|------------|-----------|------|-----------------|-------------|
| ページ         | 款         | 項          | 目         | 番号   |                 |             |
| 280～<br>283 | 10<br>教育費 | 1<br>教育総務費 | 5<br>教育諸費 | 1-16 | 「長崎の宝」発見発信学習推進費 | 千円<br>4,504 |

### 1 概 要

長崎の歴史や世界遺産等を学習する活動を通して、そのよさを実感し、ふるさと長崎に誇りを持ち、長崎が持つ世界的な価値を発信できるような児童生徒の育成をめざす。

### 2 事業内容

#### (1) 「ジュニア版歴史学校コース」 (2,425 千円)

長崎市立小学校で、ながさき歴史の学校等と連携を図り、長崎歴史文化博物館見学や市内の史跡めぐりなどを行い、長崎の歴史を知り、その成果を発信するような学習活動を展開する学校 24 校に、その交通費やガイド料を負担する。

【事業費内訳】 ①交通費 2,329 千円 ②講師料 96 千円

#### (2) 「世界遺産発見コース」 (1,447 千円)

長崎市立中学校で、グラバー園、小菅修船場跡、ジャイアントカンチレバークレーン、長崎造船所史料館など、長崎にある世界遺産や、世界遺産候補である教会群の見学を行い、その背景を知り、発信するような学習活動を展開する学校 12 校に、交通費やガイド料を負担する。

【事業費内訳】 ①交通費 1,399 千円 ②講師料 48 千円

#### (3) 「新長崎市史普及版」購入 (632 千円)

長崎市内に点在する教会群の世界文化遺産登録を見据え、中学生が、郷土の歴史や文化などについての調べ学習に活用し、ふるさと長崎への愛着をより一層深めることができるように「新長崎市史普及版 わかる！和華蘭」を各学校の 1 クラス分の冊数を配付し、一人一冊の割合で手にする機会を設ける。(各中学校の「一クラス当たりの最大人数分」)

【事業費内訳】 ①新長崎市史普及版購入費 632 千円 (650 冊×972 円)

### 3 財源内訳

| 事 業 費       | 財 源 内 訳 |         |         |             |         |
|-------------|---------|---------|---------|-------------|---------|
|             | 国庫支出金   | 県支出金    | 地方債     | その他※        | 一般財源    |
| 千円<br>4,504 | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>4,504 | 千円<br>— |

※教育基金繰入金

| 予 算 説 明 書   |           |            |           |     | 事 業 名     | 予 算 額        |
|-------------|-----------|------------|-----------|-----|-----------|--------------|
| ページ         | 款         | 項          | 目         | 番号  |           |              |
| 280～<br>283 | 10<br>教育費 | 1<br>教育総務費 | 5<br>教育諸費 | 2-2 | 高校生等入学給付金 | 千円<br>25,912 |

## 1 概 要

99%の進学率となっている高等学校等の教育費のうち、一時的に多額の費用を要する入学準備の負担軽減のため、入学に係る給付型奨学金を給付するもの。

## 2 事業内容

### (1) 名称

高校生等入学給付金

### (2) 対象者

次の要件を満たす者の保護者。ただし、生活保護世帯及び市民税所得割非課税世帯は除く。

ア 高等学校、高等専門学校、専修学校の高等課程および中等教育学校の後期課程のうち通信制でない学校(以下「高等学校等」という。)に在学すること

イ 経済的な理由によって修学が困難であること(就学援助における準要保護者相当)

### (3) 対象者数

410名

### (4) 事業費内訳

高校生等1人につき63,200円※

※支給額は生活保護費で支給される入学準備金相当額

@63,200円×410人=25,912,000円)

(参考)長崎市内の高校の入学費用

|             |          |
|-------------|----------|
| 市立・県立平均(8校) | 150,919円 |
| 私立平均(11校)   | 241,408円 |

(平成30年1月 長崎市教育委員会調査)

### 3 財源内訳

| 事業費          | 財源内訳    |         |              |         |
|--------------|---------|---------|--------------|---------|
|              | 国庫支出金   | 地方債     | その他※         | 一般財源    |
| 千円<br>25,912 | 千円<br>- | 千円<br>- | 千円<br>25,912 | 千円<br>- |

※奨学基金から充当

### 4 国・県・市の奨学金制度

|       |                     | 国の制度           | 長崎県の制度                                      | 長崎市の制度                      |   |
|-------|---------------------|----------------|---|-----------------------------|---|
| 奨学金制度 |                     | 高等学校等          |   | 大学(専門学校含む)                  |   |
|       |                     | 入学一時金          | 奨学金   | 入学一時金                       | 奨学金   |
|       |                     | 長崎市<br>(教育委員会) | (新設)<br>高校生等<br>入学給付金<br>(高校生等一人あたり63,200円) | 貸与型<br>(月1万円)               | 制度なし  |
|       | 長崎県<br>(育英会)        | 制度なし           | 貸与型<br>(月1万円～3.5万円)                         | 一時金<br>貸与<br>(30万円)         | 貸与型<br>(月4.1万円、4.7万円)                                       |
|       | 国<br>(日本学生<br>支援機構) | 制度なし           | 制度なし  | 一時金貸与<br>(利息付)<br>(10～50万円) | 貸与型<br>(無利息)(利息付)<br>(月3万円～6.4万円)                           |
|       |                     |                |   | 一時金給付<br>(24万円)             | 給付型(H30から本格実施)<br>(月2万円～4万円)<br>※私立自宅外(月4万円)を平成<br>29年度先行実施 |

#### ■国の奨学金事業の拡充

- ・給付型奨学金制度の本格実施【平成30年度から】
- ・低所得者世帯の無利子奨学金の貸与に係る成績基準を撤廃【平成29年度から】
- ・無利子奨学金の希望者全員に対する貸与の着実な実施【平成29年度から】

#### ■県の奨学金事業の拡充

- ・大学入学時の一括貸与(30万円)を実施【平成29年度から】

| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名            | 予 算 額         |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|------------------|---------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                  |               |
| 284～<br>285 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 2<br>教育振興費 | 1-1 | 要保護及び準要保護児童就学援助費 | 千円<br>110,350 |
| 288～<br>289 | 10<br>教育費 | 3<br>中学校費 | 2<br>教育振興費 | 1-1 | 要保護及び準要保護生徒就学援助費 | 144,064       |

### 1 概 要

経済的理由によって就学困難な児童生徒に学用品費等を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

### 2 事業内容

(1) 援助内容（支給予定者数 小学校 4,403人、中学校 2,331人）

| 援助費目    |                   | 支給単価          |                          | 小学校     |        | 中学校     |        |
|---------|-------------------|---------------|--------------------------|---------|--------|---------|--------|
|         |                   |               |                          | 人数      | 予算額    | 人数      | 予算額    |
| 要保護     | 修学旅行費             | 実費額           |                          | 人       | 千円     | 人       | 千円     |
|         |                   |               |                          | 96      | 2,208  | 96      | 5,184  |
| 準要保護    | 学用品費<br>通学用品費     | 1年            | 小 @11,420円               | 699     | 7,983  | 692     | 15,446 |
|         |                   |               | 中 @22,320円               |         |        |         |        |
|         |                   | 1年以外          | 小 @13,650円               | 3,608   | 49,249 | 1,543   | 37,881 |
|         |                   |               | 中 @24,550円               |         |        |         |        |
|         |                   |               | 小計                       | 4,307   | 57,232 | 2,235   | 53,327 |
|         | 新入学用品費<br>(入学準備金) |               | 小 @40,600円<br>中 @47,400円 | 728     | 29,557 | 806     | 38,205 |
|         | 通学費               |               | 実費額                      | 64      | 2,112  | 50      | 4,500  |
|         | 修学旅行費             |               | 実費額                      | 740     | 17,020 | 770     | 41,580 |
| 体育実技用具費 |                   | 実費額           | —                        | —       | 260    | 936     |        |
| 校外活動費   |                   | 実費額 (交通費・見学科) | 2,720                    | 2,221   | 380    | 332     |        |
|         |                   | 計             | 4,307                    | 108,142 | 2,235  | 138,880 |        |
|         |                   | 合計            | 4,403                    | 110,350 | 2,331  | 144,064 |        |

(2) 準要保護認定率の推移

(単位：%)

|     | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度<br>(1月末現在) |
|-----|------|------|------|-----------------|
| 小学校 | 21.6 | 21.1 | 21.1 | 20.7            |
| 中学校 | 22.6 | 22.6 | 21.6 | 21.5            |
| 全体  | 22.0 | 21.6 | 21.3 | 21.2            |

### 3 財源内訳

| 事業費         | 財 源 内 訳 |      |     |     |         |
|-------------|---------|------|-----|-----|---------|
|             | 国庫支出金※  | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源    |
| 千円          | 千円      | 千円   | 千円  | 千円  | 千円      |
| 【小】 110,350 | 1,104   | —    | —   | —   | 109,246 |
| 【中】 144,064 | 2,592   | —    | —   | —   | 141,472 |

※ 要保護児童生徒援助費補助金（補助率 1/2）

| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名            | 予 算 額        |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|------------------|--------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                  |              |
| 282～<br>285 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 1<br>学校管理費 | 2-3 | 小学校管理費<br>耐力度調査費 | 千円<br>14,000 |
| 286～<br>289 | 10<br>教育費 | 3<br>中学校費 | 1<br>学校管理費 | 2-3 | 中学校管理費<br>耐力度調査費 | 千円<br>9,000  |

### 1 概 要

長崎市内の学校施設は、その多くが高度経済成長期に建てられていることから老朽化が進んでおり、早急に学校毎の施設整備計画（改築又は改修計画）を策定する必要がある。

改築の必要性及びその優先順位を判断するため、昭和56年6月の建築基準法改正（新耐震基準）前の基準で建てられた学校を調査対象として耐力度調査を実施し、本調査結果と平成19年度から平成21年度に実施した耐震診断結果により耐力度点数を算出することで、建物の健全性を測る判断指標とする。

なお、改築が必要と判断された場合、当該調査結果を基に「耐力度調査報告書」を作成し、国庫補助申請の要件とすることができる。

### 2 事業内容及び事業費内訳

昭和56年6月の建築基準法改正（新耐震基準）前の基準で建てられた学校を調査対象とし、耐力度調査（コンクリート研り等調査、鉄筋腐食調査等）を平成30年度から平成32年度までの3カ年で実施するもの。（対象校 小学校：45校、中学校：27校 計72校）

#### 事業費内訳

| 学校区分     | 費用区分 | 予算額（千円） | 内 容                              |
|----------|------|---------|----------------------------------|
| 小学校（15校） | 委託料  | 14,000  | 耐力度調査 50万円×28棟<br>（校舎16棟、体育館12棟） |
| 中学校（9校）  | 委託料  | 9,000   | 耐力度調査 50万円×18棟<br>（校舎11棟、体育館7棟）  |

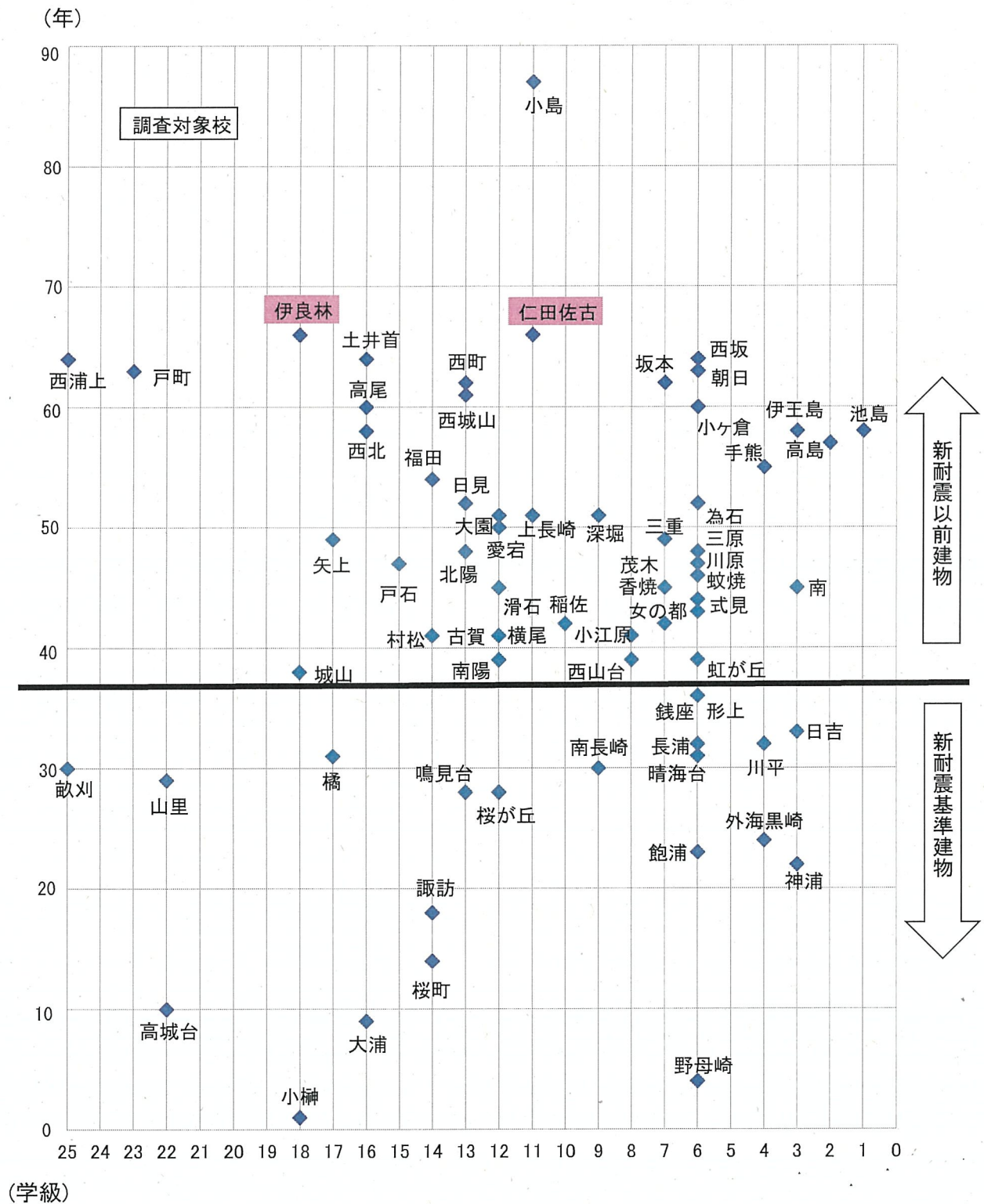
### 3 財源内訳

| 予算区分 | 事業費          | 財 源 内 訳 |         |         |         |              |
|------|--------------|---------|---------|---------|---------|--------------|
|      |              | 国庫支出金   | 県支出金    | 地方債     | その他     | 一般財源         |
| 小学校費 | 千円<br>14,000 | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>14,000 |
| 中学校費 | 千円<br>9,000  | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>9,000  |

# 小学校建築経過年数等分布図（平成 29 年度）

全68校

## 小学校



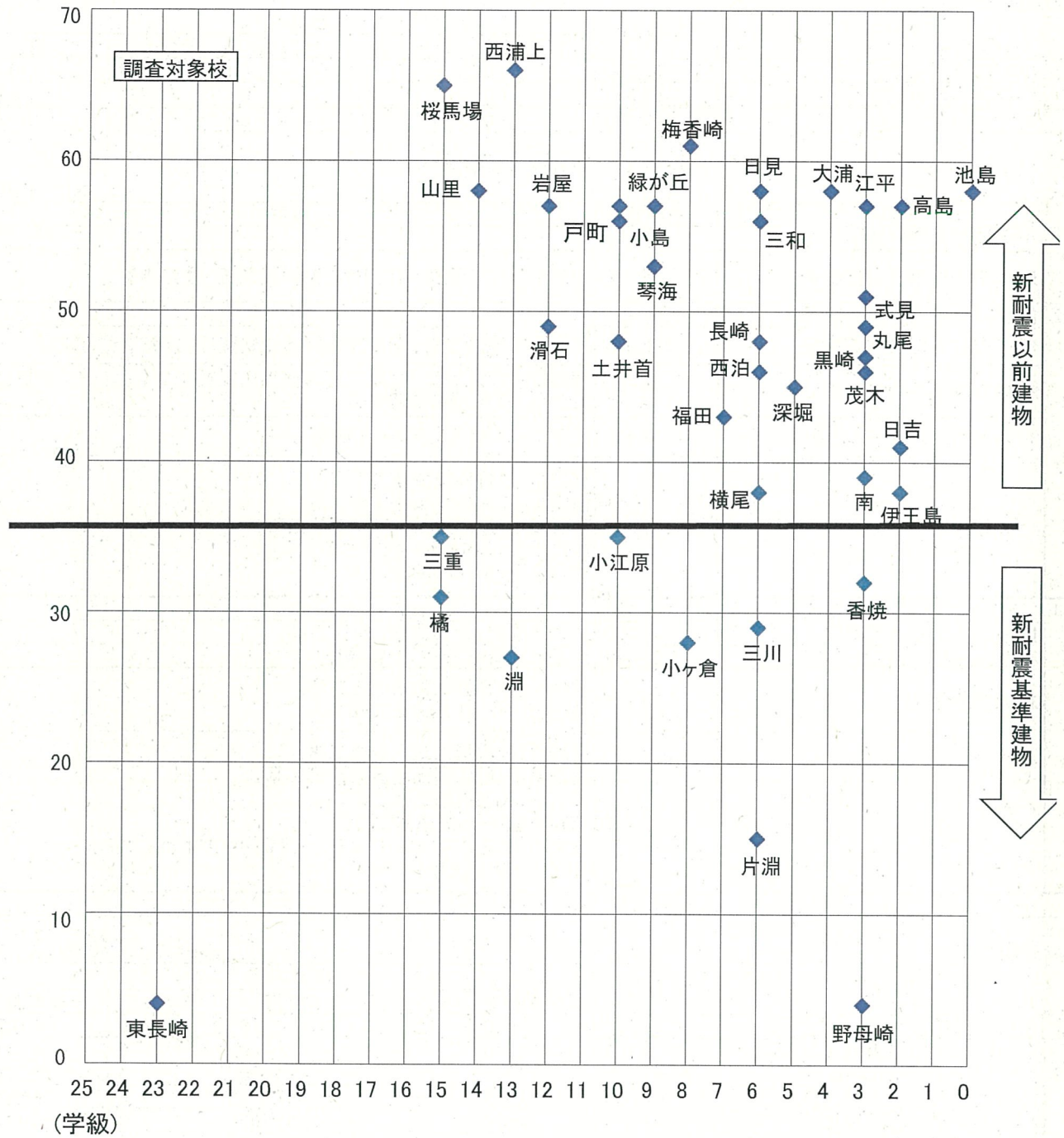
- ・新耐震基準建物・・・昭和56年6月に改正された建築基準法の耐震基準を満たす建物。
- ・  の学校・・・建替事業に着手している学校。

# 中学校建築経過年数等分布図（平成 29 年度）

## 中 学 校

全39校

(年)



・新耐震基準建物・・・昭和56年6月に改正された建築基準法の耐震基準を満たす建物。

## 10款2項3目 学校維持補修費総括表(小学校)

(単位:千円)

| 事項名        | 事業費     | 内容                                   |
|------------|---------|--------------------------------------|
| 1 小学校維持補修費 | 169,930 |                                      |
| 1 校舎等維持補修費 | 169,930 | 各小学校(経年劣化等による損傷箇所の補修、トイレ洋式化、消防設備改修等) |
| 計          | 169,930 |                                      |

## 財源内訳

(単位:千円)

| 事項名        | 事業費     | 財源内訳  |      |     |       |         |
|------------|---------|-------|------|-----|-------|---------|
|            |         | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他   | 一般財源    |
| 1 小学校維持補修費 | 169,930 | 0     | 0    | 0   | 2,733 | 167,197 |
| 1 校舎等維持補修費 | 169,930 | 0     | 0    | 0   | 2,733 | 167,197 |
| 計          | 169,930 | 0     | 0    | 0   | 2,733 | 167,197 |

## 10款2項4目 学校建設費総括表(小学校)

(単位:千円)

| 事項名            | 事業費       | 内容  |
|----------------|-----------|---|
| 1 小学校整備検討費     | 4,100     |   |
| 1 小学校整備検討推進費   | 4,100     | 小島小学校の建替えに向けた耐力度調査、登記測量   |
| 2 【補助】小学校整備事業費 | 1,297,800 |   |
| 1 仁田佐古小校舎等建設   | 759,000   | 新校舎等建設工事、埋蔵文化財の資料整理、運動場測量設計   |
| 2 伊良林小校舎等改築    | 249,500   | 南側校舎棟建設工事、既存屋内運動場棟解体工事、北側校舎棟建設工事、仮設校舎等賃貸借   |
| 3 外海黒崎小プール改築   | 72,300    | 既存プール解体、新プール改築  |
| 4 大規模改造        | 217,000   | 稲佐小(校舎外壁改修工事)<br>南陽小(校舎外壁改修工事)<br>南長崎小(屋内運動場外壁改修工事)<br>村松小(エレベーター設置工事)<br>桜が丘小(トイレ洋式化工事)                            |
| 3 【単独】小学校整備事業費 | 141,100   |   |
| 1 西浦上小校舎等改築    | 7,100     | 耐力度調査、土質調査、登記測量   |
| 2 小島小取付道路      | 21,000    | 測量及び概略設計、土質調査   |
| 3 大規模改造        | 39,000    | 稲佐小(校舎屋上防水改修工事)<br>橘小(カーペット床改修工事)   |
| 4 諸工事          | 74,000    | 南陽小(校舎屋上防水改修工事)<br>南長崎小(屋内運動場屋根改修工事)<br>戸石小(校舎内部改修工事)<br>畷刈小(プール床改修工事)<br>高尾小・戸石小・大園小・滑石小・北陽小・茂木小・古賀小<br>(トイレ洋式化工事) |
| 計              | 1,443,000 |   |

## 財源内訳

(単位:千円)

| 事項名            | 事業費       | 財源内訳    |      |         |     |         |
|----------------|-----------|---------|------|---------|-----|---------|
|                |           | 国庫支出金   | 県支出金 | 地方債     | その他 | 一般財源    |
| 1 小学校整備検討費     | 4,100     | 0       | 0    | 0       | 0   | 4,100   |
| 1 小学校整備検討推進費   | 4,100     | 0       | 0    | 0       | 0   | 4,100   |
| 2 【補助】小学校整備事業費 | 1,297,800 | 267,818 | 0    | 804,200 | 5   | 225,777 |
| 1 仁田佐古小校舎等建設   | 759,000   | 172,208 | 0    | 457,700 | 5   | 129,087 |
| 2 伊良林小校舎等改築    | 249,500   | 32,600  | 0    | 161,100 | 0   | 55,800  |
| 3 外海黒崎小プール改築   | 72,300    | 9,397   | 0    | 62,900  | 0   | 3       |
| 4 大規模改造        | 217,000   | 53,613  | 0    | 122,500 | 0   | 40,887  |
| 3 【単独】小学校整備事業費 | 141,100   | 0       | 0    | 102,600 | 0   | 38,500  |
| 1 西浦上小校舎等改築    | 7,100     | 0       | 0    | 2,200   | 0   | 4,900   |
| 2 小島小取付道路      | 21,000    | 0       | 0    | 15,700  | 0   | 5,300   |
| 3 大規模改造        | 39,000    | 0       | 0    | 29,200  | 0   | 9,800   |
| 4 諸工事          | 74,000    | 0       | 0    | 55,500  | 0   | 18,500  |
| 計              | 1,443,000 | 267,818 | 0    | 906,800 | 5   | 268,377 |



10款3項3目 学校維持補修費総括表(中学校)

(単位:千円)

| 事項名        | 事業費     | 内容  |
|------------|---------|---|
| 1 中学校維持補修費 | 110,065 |   |
| 1 校舎等維持補修費 | 110,065 | 各中学校(経年劣化等による損傷箇所の補修、トイレ洋式化、消防設備改修、伊王島小移転に伴う中学校校舎修繕等) |
| 計          | 110,065 |   |

財源内訳

(単位:千円)

| 事項名        | 事業費     | 財源内訳  |      |     |       |         |
|------------|---------|-------|------|-----|-------|---------|
|            |         | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他   | 一般財源    |
| 1 中学校維持補修費 | 110,065 | 0     | 0    | 0   | 3,865 | 106,200 |
| 1 校舎等維持補修費 | 110,065 | 0     | 0    | 0   | 3,865 | 106,200 |
| 計          | 110,065 | 0     | 0    | 0   | 3,865 | 106,200 |

10款3項4目 学校建設費総括表(中学校)

(単位:千円)

| 事項名            | 事業費       | 内容                               |
|----------------|-----------|----------------------------------|
| 1 【補助】中学校整備事業費 | 1,137,500 |                                  |
| 1 外海中学校校舎等建設   | 968,900   | 校舎等建設(校舎、屋内運動場)、運動場等整備           |
| 2 大規模改造        | 168,600   | 小江原中(校舎外壁改修工事)<br>淵中(校舎外壁改修工事)   |
| 2 【単独】中学校整備事業費 | 49,700    |                                  |
| 1 大規模改造        | 29,300    | 小江原中(校舎屋上防水改修工事)                 |
| 2 諸工事          | 20,400    | 淵中(校舎屋上防水改修工事)<br>橘中(トイレ洋式化改修工事) |
| 計              | 1,187,200 |                                  |

財源内訳

(単位:千円)

| 事項名            | 事業費       | 財源内訳    |      |         |     |        |
|----------------|-----------|---------|------|---------|-----|--------|
|                |           | 国庫支出金   | 県支出金 | 地方債     | その他 | 一般財源   |
| 1 【補助】中学校整備事業費 | 1,137,500 | 396,827 | 0    | 687,900 | 7   | 52,766 |
| 1 外海中学校校舎等建設   | 968,900   | 340,627 | 0    | 603,600 | 7   | 24,666 |
| 2 大規模改造        | 168,600   | 56,200  | 0    | 84,300  | 0   | 28,100 |
| 2 【単独】中学校整備事業費 | 49,700    | 0       | 0    | 37,200  | 0   | 12,500 |
| 1 大規模改造        | 29,300    | 0       | 0    | 21,900  | 0   | 7,400  |
| 2 諸工事          | 20,400    | 0       | 0    | 15,300  | 0   | 5,100  |
| 計              | 1,187,200 | 396,827 | 0    | 725,100 | 7   | 65,266 |

## 10款4項3目 学校維持補修費総括表(高等学校)

(単位:千円)

| 事項名          | 事業費   | 内容              |
|--------------|-------|-----------------|
| 1 高等学校維持補修費  | 9,500 |                 |
| 1 1 校舎等維持補修費 | 9,500 | 経年劣化等による損傷箇所の補修 |
| 計            | 9,500 |                 |

## 財源内訳

(単位:千円)

| 事項名          | 事業費   | 財源内訳  |      |     |       |       |
|--------------|-------|-------|------|-----|-------|-------|
|              |       | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他   | 一般財源  |
| 1 高等学校維持補修費  | 9,500 | 0     | 0    | 0   | 6,747 | 2,753 |
| 1 1 校舎等維持補修費 | 9,500 | 0     | 0    | 0   | 6,747 | 2,753 |
| 計            | 9,500 | 0     | 0    | 0   | 6,747 | 2,753 |

## 10款4項4目 学校建設費総括表(高等学校)

(単位:千円)

| 事項名             | 事業費    | 内容                   |
|-----------------|--------|----------------------|
| 1 【単独】高等学校整備事業費 | 22,400 |                      |
| 1 1 諸工事         | 22,400 | 消火設備改修工事<br>電話設備改修工事 |
| 計               | 22,400 |                      |

## 財源内訳

(単位:千円)

| 事項名             | 事業費    | 財源内訳  |      |        |     |       |
|-----------------|--------|-------|------|--------|-----|-------|
|                 |        | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債    | その他 | 一般財源  |
| 1 【単独】高等学校整備事業費 | 22,400 | 0     | 0    | 16,800 | 0   | 5,600 |
| 1 1 諸工事         | 22,400 | 0     | 0    | 16,800 | 0   | 5,600 |
| 計               | 22,400 | 0     | 0    | 16,800 | 0   | 5,600 |

## 学校トイレ洋式化推進事業について

### 1 事業概要

学校施設は、児童及び生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるため、子どもたちが安心して快適に学校生活を過ごすことができるよう、トイレの洋式化を推進することにより、教育環境の改善を図る。

### 2 事業内容

一般の家庭などにおいては、洋式トイレが普及し、和式トイレを利用する機会も少なくなっている状況にあるなかで、学校トイレについては、和式便器の割合が多く、学校や保護者からも洋式化を望む声も多いため、トイレの和便器を洋便器に改修する。

#### (1) 改修の基本的な考え方

①目標値 日常的に使うトイレにおける洋式便器数の割合を、小学校は80%、中学校は50%を目標とする。

(統廃合や改築予定等の理由により整備しない学校を除き、学校規模に対して子どもの数が減っている学校が多いため、現在の施設の総量に対する割合は45%となる。)

※1 必要便器数は、空気調和・衛生工学会の「衛生器具の適正個数算定法」により児童生徒数をもとに算出されたもの

※2 すべてを洋便器にしない理由

和便器が社会の中に残っていることから小学校は、和便器を最低1個残す必要がある。(例えば5器のうち4器を洋便器)中学校については人が使った洋便器を使いたがらない子どもが居ることも考慮し和便器を半分残すこととする。

#### ②改修内容

- ・便器の改修
- ・便器の改修に伴うブースの取り換え(洋便器にした際の内開きのドアを外開きに改修・ブースの幅の調整など、既存のブースを活用できるものについてはブースの改修はしない)

#### (2) 年次計画について(予定)

平成28年度に25校(対応済み)、29年度に37校(対応済み)、30年度に18校を対象とする。

(対象校80校)

#### <計画の対象外>

- ・現在、統廃合や改築等の予定のある学校。なお、適正配置計画で今後、統廃合の可能性のある学校で今後、5～10年程度使う見込みのある学校については、必要最小限の整備にとどめる。
- ・現時点で既にトイレの洋式化率が目標を達成している学校  
(小学校は概ね80%、中学校は概ね50%)

| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名                  | 予 算 額       |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|------------------------|-------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                        |             |
| 286~<br>287 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 4<br>学校建設費 | 1-1 | 小学校整備検討費<br>小学校整備検討推進費 | 千円<br>4,100 |

### 1 概 要

小島小学校は、築87年と老朽化が著しく、建て替え対象校であるとの判断から耐震補強工事を実施しておらず、早期の建て替えが必要であることから、校舎等の建て替えに向けた調査等を行うものである。

### 2 事業内容及び事業費内訳

平成30年度に、建て替えに向けた耐力度調査、登記測量を行う。

#### (1) 学校施設

ア 規模（平成29年5月1日現在） 【長崎県学級編成基準】

小島小学校 生徒数 267人 学級数 12クラス（特別支援2クラス含む）

イ 生徒数・学級数の現状及び将来推計（通常学級） 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計） 小島小 (H29.5.1現在)

| 年 度 | H29  | H30  | H31  | H32  | H33  | H34  | H35  |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 生徒数 | 257人 | 267人 | 285人 | 300人 | 299人 | 322人 | 358人 |
| 学級数 | 11学級 | 12学級 | 12学級 | 12学級 | 12学級 | 13学級 | 13学級 |

#### (2) 事業費内訳

| 区分  | 予算額（千円） | 内 容                        |
|-----|---------|----------------------------|
| 委託料 | 4,100   | 耐力度調査 1,000千円、登記測量 3,100千円 |
| 計   | 4,100   |                            |

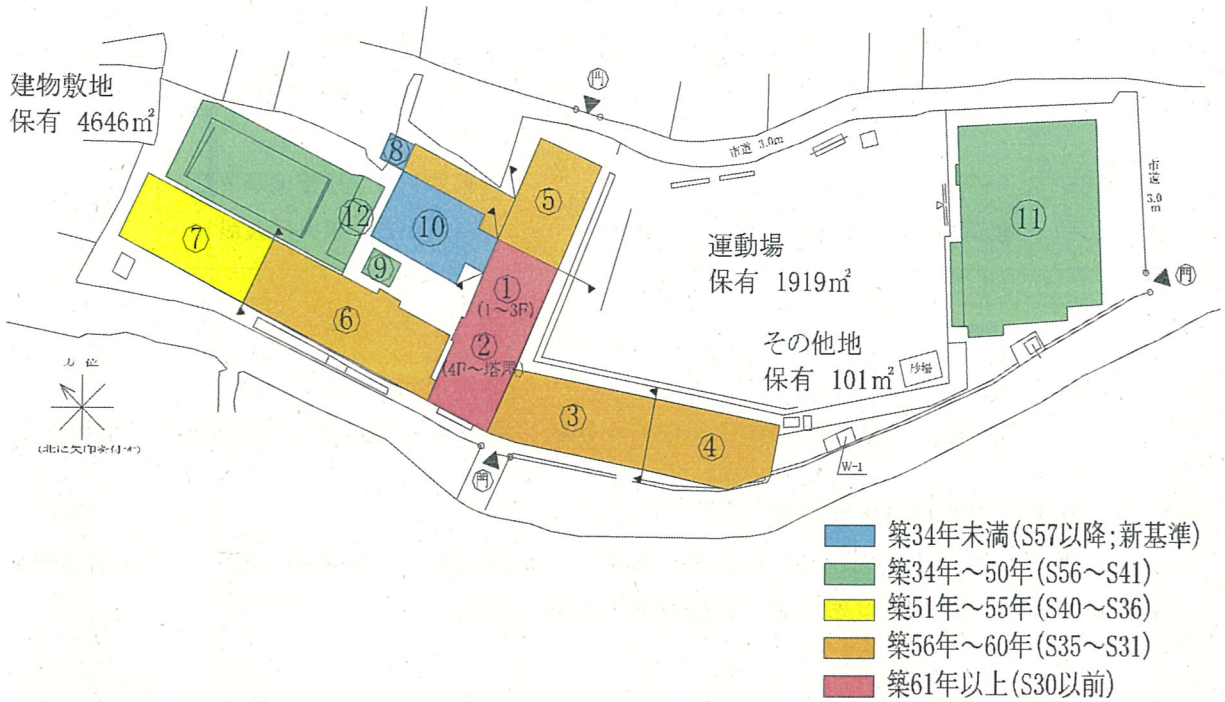
### 3 スケジュール（予定）

平成30年度 耐力度調査、登記測量  
事業手法の決定

### 4 財源内訳

| 事 業 費       | 財 源 内 訳 |      |     |     |       |
|-------------|---------|------|-----|-----|-------|
|             | 国庫支出金   | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源  |
| 千円<br>4,100 | 千円      | 千円   | 千円  | 千円  | 千円    |
|             |         | —    |     | —   | 4,100 |

## 5 現小島小学校の施設配置及び概要



施設の状況 (平成 29 年 5 月 1 日現在)

| 番号 | 区分     | 構造 | 階数 | 面積                   | 建設年月        | 経過年数 |
|----|--------|----|----|----------------------|-------------|------|
| ①  | 校舎     | RC | 4  | 677 m <sup>2</sup>   | 昭和 5 年 5 月  | 87 年 |
| ②  | 校舎     | RC | 4  | 273 m <sup>2</sup>   | 昭和 31 年 9 月 | 61 年 |
| ③  | 校舎     | RC | 4  | 986 m <sup>2</sup>   | 昭和 32 年 3 月 | 61 年 |
| ④  | 校舎     | RC | 4  | 779 m <sup>2</sup>   | 昭和 32 年 3 月 | 61 年 |
| ⑤  | 校舎・給食室 | RC | 3  | 850 m <sup>2</sup>   | 昭和 34 年 3 月 | 59 年 |
| ⑥  | 校舎     | RC | 4  | 1,332 m <sup>2</sup> | 昭和 34 年 3 月 | 59 年 |
| ⑦  | 校舎     | RC | 4  | 951 m <sup>2</sup>   | 昭和 38 年 3 月 | 55 年 |
| ⑧  | 給食室    | RC | 1  | 6 m <sup>2</sup>     | 昭和 59 年 2 月 | 34 年 |
| ⑨  | 校舎     | S  | 1  | 20 m <sup>2</sup>    | 昭和 56 年 3 月 | 37 年 |
| ⑩  | 校舎・給食室 | RC | 2  | 189 m <sup>2</sup>   | 昭和 59 年 2 月 | 34 年 |
| ⑪  | 体育館    | S  | 1  | 598 m <sup>2</sup>   | 昭和 48 年 3 月 | 45 年 |
| ⑫  | プール    | S  | 1  | 180 m <sup>2</sup>   | 昭和 56 年 3 月 | 37 年 |

※RC 造は鉄筋コンクリート造、S 造は鉄骨造、プールの面積は水面積

| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名                      | 予 算 額         |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|----------------------------|---------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                            |               |
| 286~<br>287 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 4<br>学校建設費 | 2-1 | 【補助】小学校整備事業費<br>仁田佐古小校舎等建設 | 千円<br>759,000 |

## 1 概 要

現在の旧佐古小学校敷地に仁田佐古小学校の新校舎等を建設し、教育環境の改善を図る。

## 2 事業内容及び事業費内訳

平成 30 年度は、平成 29 年度から着手した新校舎棟の特殊基礎（杭）工事を引き続き行い、特殊基礎工事の完了後、新校舎等の建設に着手する。

### (1) 学校施設

ア 規模（平成 29 年 5 月 1 日現在）【長崎県学級編成基準】

児童数 284 人 学級数 14 クラス（特別支援 3 クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計（通常学級）【長崎県学級編成基準】（H29.5.1 現在）  
（学年進行による推計）

| 年 度 | H29   | H30   | H31   | H32   | H33   | H34   | H35   |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 児童数 | 271 人 | 290 人 | 310 人 | 333 人 | 350 人 | 363 人 | 403 人 |
| 学級数 | 11 学級 | 12 学級 | 12 学級 | 13 学級 | 13 学級 | 12 学級 | 13 学級 |

### ウ 建物概要

| 建物区分  | 校舎棟   | 屋内運動場棟  |
|-------|---|---|
| 構造・規模 | 鉄筋コンクリート造・4階建て  | 鉄筋コンクリート造・2階建て  |
| 施設構成  | 普通教室 16 室（特支 2 室含）<br>特別教室 8 室<br>管理諸室 19 室<br>エレベーター 1 基（11 人乗り）<br>プール（25m×5 コース）<br>放課後児童クラブ | 特別教室 4 室<br>管理諸室 2 室<br>屋内運動場<br>[バスケットコート、バレーコート 2 面]<br>[バドミントンコート 3 面]<br>エレベーター 1 基（13 人乗り） |
|       | 太陽光発電設備<br>雨水利用システム   |   |
| 施工時期  | 平成 30～31 年度   |   |

(2) 事業費内訳

| 区 分               | 予算額 (千円) | 内 容              |
|-------------------|----------|------------------|
| 新校舎棟の特殊基礎工事 (後年度) | 117,000  | 完成払相当分 (60%) を計上 |
| 新校舎棟建設            | 354,725  | 前払金相当分 (30%) を計上 |
| 新屋内運動場棟建設         | 227,884  | 前払金相当分 (30%) を計上 |
| プール建設             | 46,268   | 前払金相当分 (40%) を計上 |
| 運動場測量設計           | 5,300    |                  |
| 埋蔵文化財整理作業・報告書作成   | 3,402    | 埋蔵文化財の資料整理、報告書作成 |
| 事務費               | 4,421    |                  |
| 計                 | 759,000  |                  |

3 スケジュール (予定を含む)

|                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 平成 27～29 年度    | 基本・実施設計                  |
| 平成 28 年度       | 土質調査、耐力度調査、建物事前調査、用地登記測量 |
| 平成 28 年度～29 年度 | 旧佐古小学校校舎等解体工事            |
| 平成 29～30 年度    | 新校舎棟杭工事                  |
| 平成 30～31 年度    | 新校舎・体育館建設                |
| 平成 31 年度～      | 新校舎等供用開始 (予定)            |
| 平成 31～32 年度    | グラウンド整備等                 |

4 財源内訳

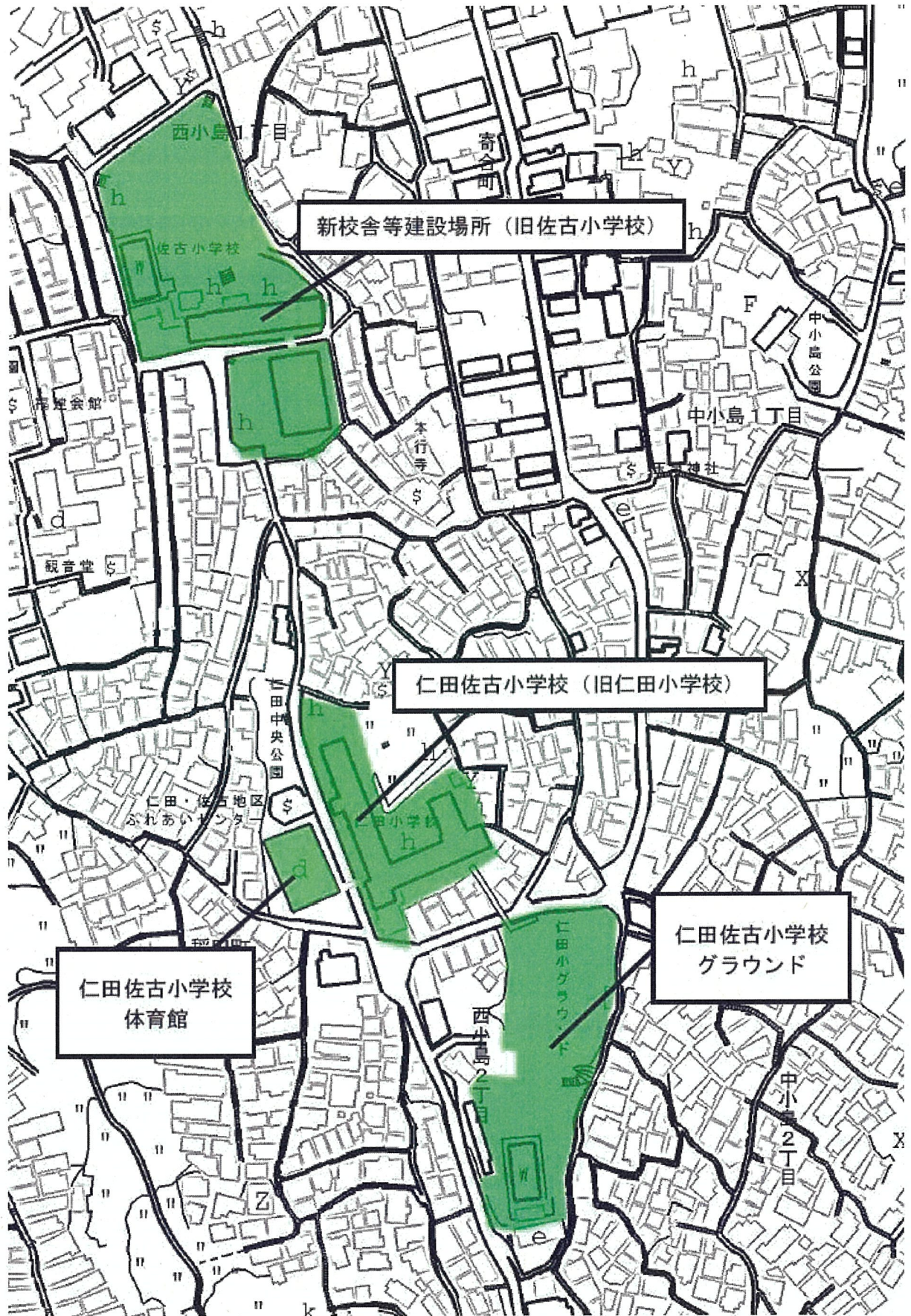
| 事業費     | 財 源 内 訳 |      |         |       |         |
|---------|---------|------|---------|-------|---------|
|         | 国庫支出金※1 | 県支出金 | 地方債※2   | その他※3 | 一般財源    |
| 千円      | 千円      | 千円   | 千円      | 千円    | 千円      |
| 759,000 | 172,208 | —    | 457,700 | 5     | 129,087 |

※1 公立学校施設整備費国庫負担金 (負担率: 1/2)、学校施設環境改善交付金 (補助率: 1/3)

※2 学校教育施設等整備事業債 (充当率: 90%、75%)

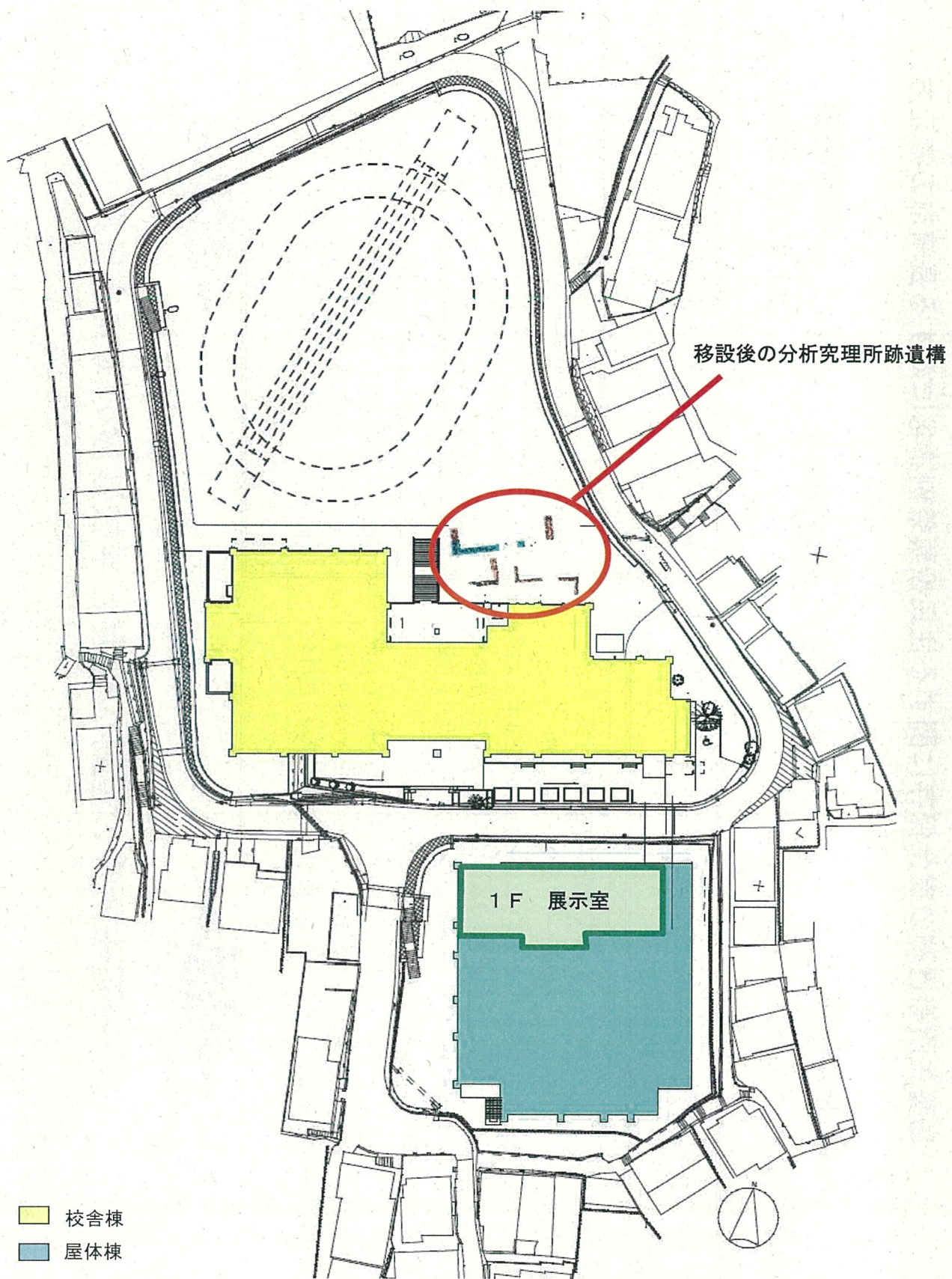
※3 保険料個人負担金

5 仁田佐古小学校位置図





6 新設建物等の施設配置



# 小島養生所等遺跡の完全保存に関する住民投票条例請求に対する長崎市の考え方

## 遺跡の保存

(遺跡の保存・活用・継承と歴史的価値の顕在化)

どちらも重要な市の責務

## 学校建設

(安全安心な教育環境の整備)

遺構の残存状況は良くないが、小島養生所や分析究理所等が近代西洋医学発祥の地として歴史上果たした役割は大きい

現在使用している仁田佐古小学校の校舎は老朽化が進んでおり、耐震化もしていないため、子どもたちの安全安心な教育環境を早期に整備する必要がある

### 小島養生所の遺構 (体育館側敷地)

- 市の指定史跡として、すべて現状保存する
- 埋蔵文化財の最適な保存方法とされる埋め戻しによる保存を基本とする
- 一部の遺構は露出展示することで、その歴史的価値を伝える

### 分析究理所等の遺構 (校舎・グラウンド側敷地)

- 埋戻しによる現状保存を基本とする
- 学校建設の支障となる部分は精度の高い記録(3Dデータを含む)を作成し、移設する
- 移設部分は、埋め戻した部分の複製と合わせて、元の姿を彷彿させるように敷地内で再現し、保存・活用を図る

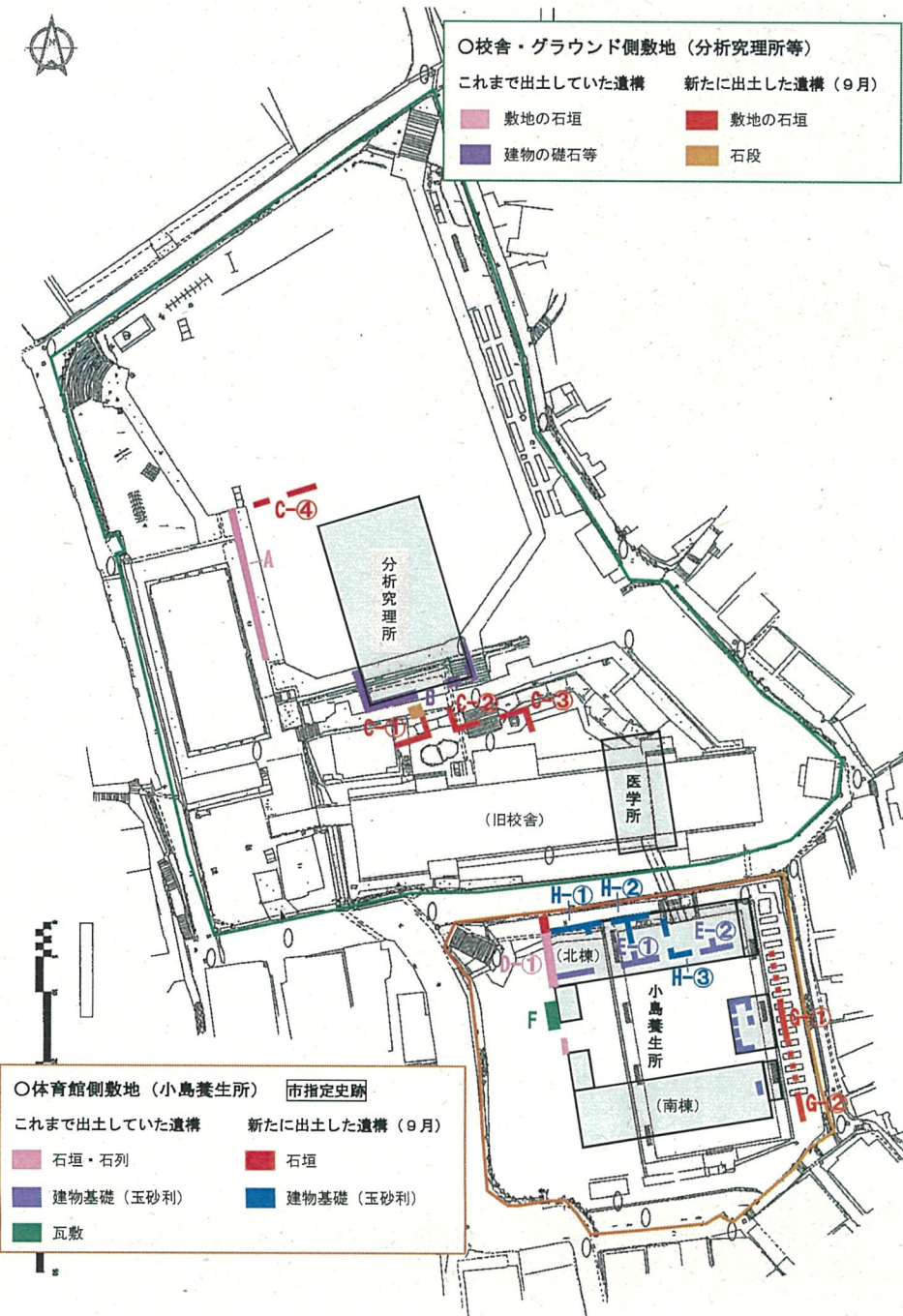
地元住民と6年間にも及ぶ長い時間をかけて協議を重ね、子どもたちにとってより良い教育環境を整備することができるとの判断から、旧佐古小学校跡地を適地として決定した

旧佐古小学校跡地における発掘調査終了後、仁田佐古小学校PTAが実施した新校舎建設に係るアンケート調査では、保護者全体の9割近い方々から回答を得ており、そのうちの8割近くが、現在の計画通りの学校建設を望んでいる

## 小島養生所等の遺跡の保存と学校建設の両立を目指す

- 発掘調査で検出された遺構については、適切な方法により保存・活用を図り、詳細な記録とともに後世に残す
- 体育館に展示室を併設し、小島養生所等に関する遺構や遺物、資料などを展示する(長崎大学をはじめとする医療関係機関との連携)
- 貴重な情報を発信し、歴史と価値を伝えながら、遺跡の保存・継承を図る

# 小島養生所跡及び関連遺跡の遺構検出状況



○校舎・グラウンド側敷地 (分析研究所等)  
 これまで出土していた遺構      新たに出土した遺構 (9月)

|        |       |
|--------|-------|
| 敷地の石垣  | 敷地の石垣 |
| 建物の礎石等 | 石段    |

○体育館側敷地 (小島養生所)      市指定史跡  
 これまで出土していた遺構      新たに出土した遺構 (9月)

|            |            |
|------------|------------|
| 石垣・石列      | 石垣         |
| 建物基礎 (玉砂利) | 建物基礎 (玉砂利) |
| 瓦敷         |            |

## ○分析研究所に関する遺構 (校舎・グラウンド側)

※取扱予定



## ○小島養生所に関する主な遺構 (体育館側)

※取扱予定

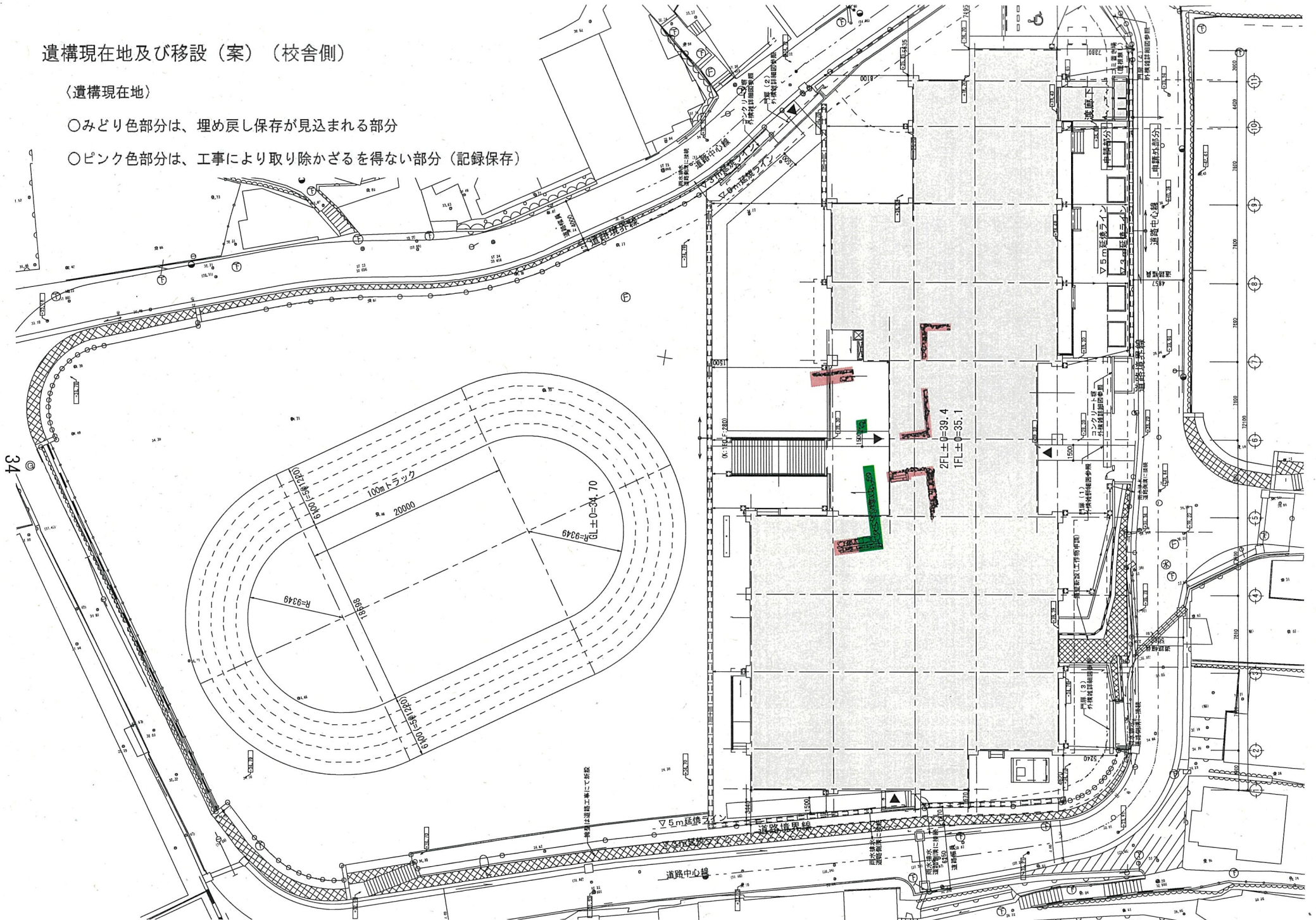


# 遺構現在地及び移設（案）（校舎側）

〈遺構現在地〉

○みどり色部分は、埋め戻し保存が見込まれる部分

○ピンク色部分は、工事により取り除かざるを得ない部分（記録保存）



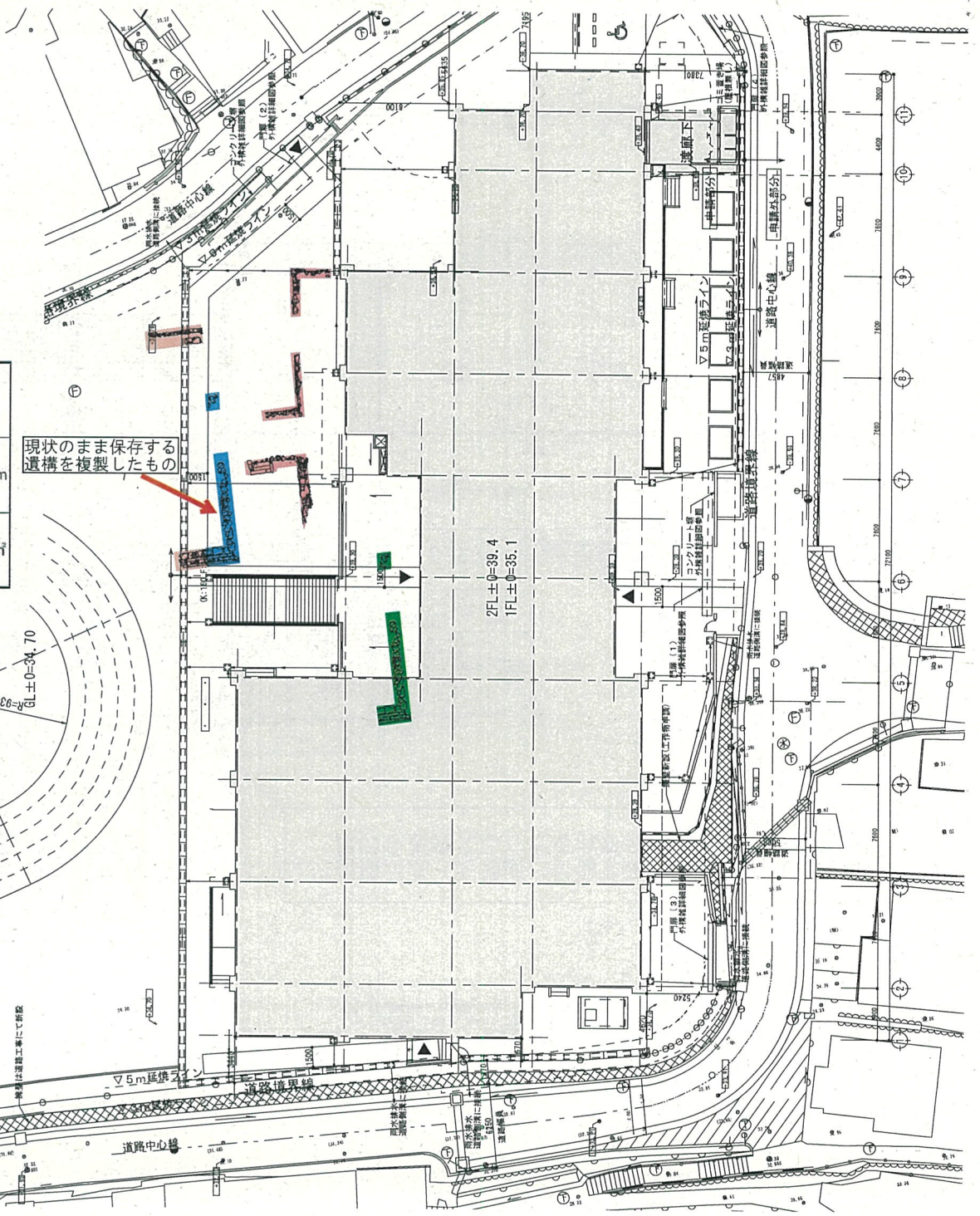
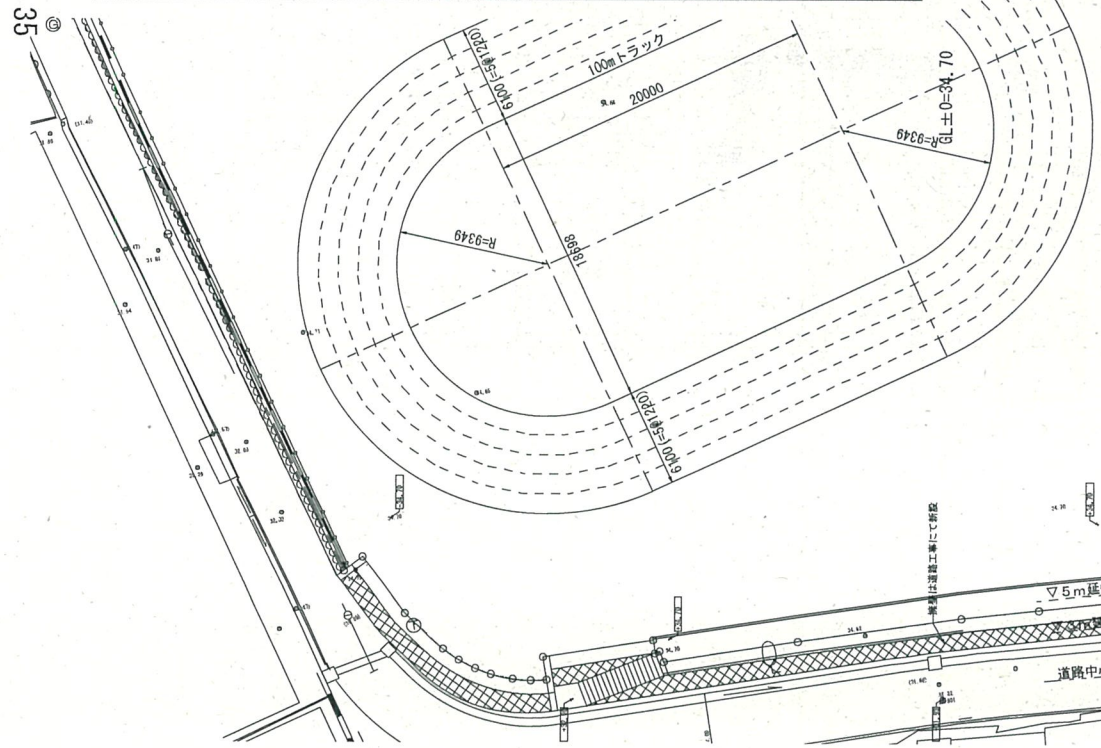
〈遺構移設（案2）〉

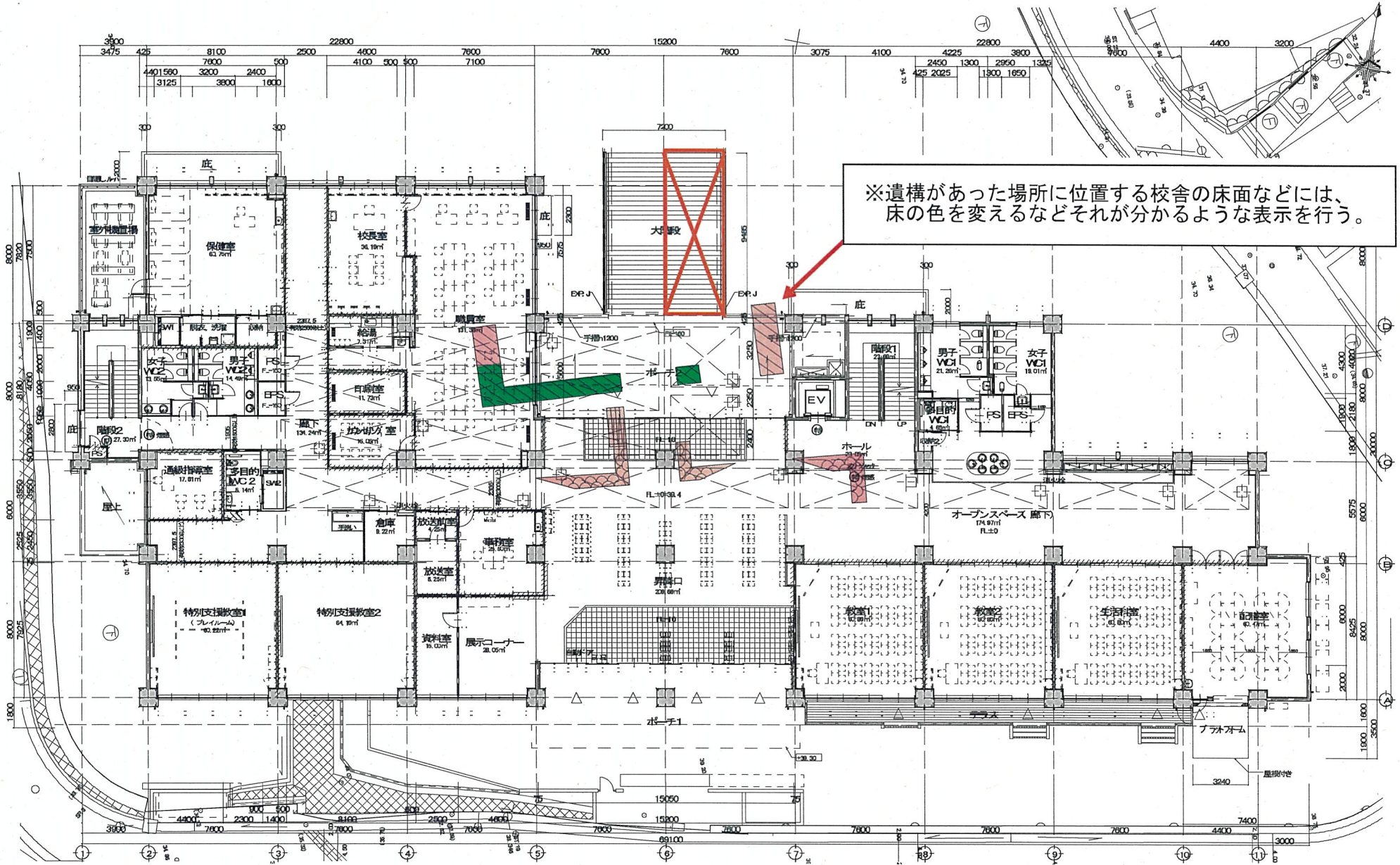
- みどり色部分は、埋め戻し保存が見込まれる部分
- ピンク色部分は、工事により取り除かざるを得ない部分（記録保存）

（移設案） 埋め戻しにより現状のまま保存する（みどり色部分）ことを基本としながら、新校舎建設に支障となる部分（ピンク色部分）は、精度の高い記録をとったうえで移設する。  
 移設する部分は、埋め戻した部分の複製（青色部分）と合わせて、元の姿を彷彿とさせるように敷地内で再現し、保存・活用を図る。

分析究理所跡遺構移設にかかる比較表

|          | 当初案                  | 遺構移設後                |
|----------|----------------------|----------------------|
| 大階段（幅）   | 7.2 m                | 3.5 m                |
| 体育倉庫（広さ） | 37.20 m <sup>2</sup> | 18.60 m <sup>2</sup> |





#### (4) 長崎 (小島) 養生所跡 顕在化の平面プラン<イメージ>

議会提出用



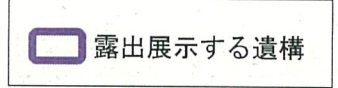
##### 1 展示スペースの展示内容(案)

- 展示室面積 約 360 m<sup>2</sup>
- ・ うち展示スペース 約 290 m<sup>2</sup> (4 教室相当)
- ・ 事務室・トイレ等 約 70 m<sup>2</sup>
- 展示内容 (想定できるもの)
- ・ 養生所遺構の露出展示
- ・ 分析究理所遺構のレプリカ
- ・ 3D 計測した遺構や写真から想像できる建物の映像 (モニター設置)、模型
- ・ 展示ケース内での出土遺物展示
- ・ 養生所等の古写真、古絵図、年表 など

※具体的な展示内容は長崎大学と協議

##### 2 展示室整備にかかる経費

約 2 億円  
(建設費、展示整備費 等)

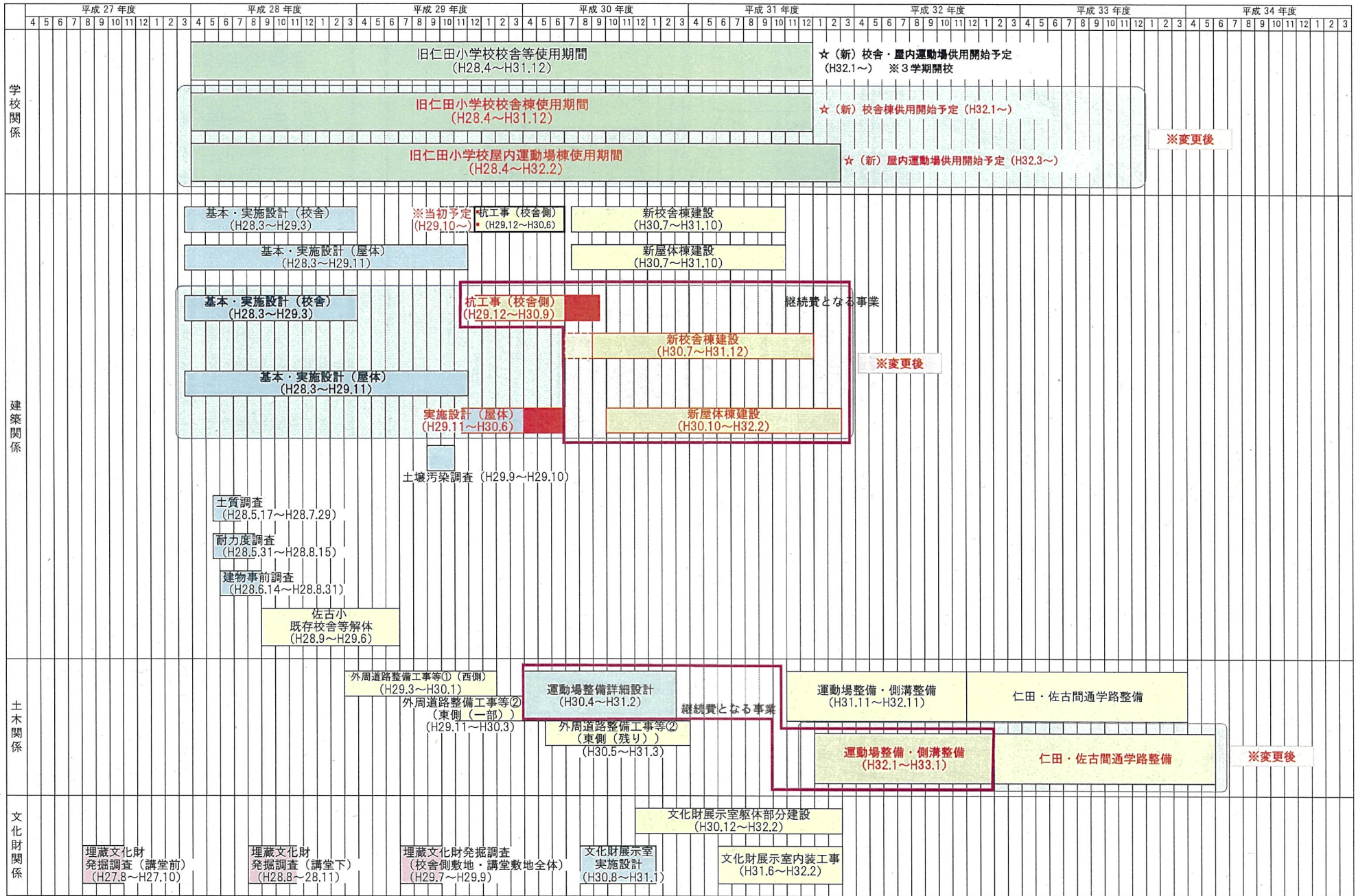


1 階：特別教室・長崎(小島)養生所跡展示室  
2 階：体育館

※遺構は全て現状保存 (一部は露出展示、その他は埋め戻し保存)

○仁田佐古小学校舎等建設スケジュール (案)

※ ①杭工事の工期の変更契約議案を平成30年2月議会で可決した場合  
 ②屋体の実施設計の設計変更をした場合 (屋体棟実施設計を繰越した場合)



※凡例 □ : 業務委託 □ : 工事 □ : 文化財調査



| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名                     | 予 算 額         |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|---------------------------|---------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                           |               |
| 286～<br>287 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 4<br>学校建設費 | 2-2 | 【補助】小学校整備事業費<br>伊良林小校舎等改築 | 千円<br>249,500 |

## 1 概 要

老朽化した伊良林小学校の校舎等を改築することにより、教育環境の改善を図る。

## 2 事業内容及び事業費内訳

平成30年度は南側校舎棟の建設工事を進め、平成31年1月からの供用開始を目指す。また、既存体育館棟の解体工事に着手し、解体完了後、北側校舎棟の建設に着手する。

### (1) 学校施設

ア 規模（平成29年5月1日現在）【長崎県学級編成基準】

児童数 559人 学級数 23クラス（特別支援5クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計（通常学級）【長崎県学級編成基準】

(H29.5.1現在)

| 年 度 | H29  | H30  | H31  | H32  | H33  | H34  | H35  |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童数 | 532人 | 516人 | 485人 | 455人 | 421人 | 485人 | 470人 |
| 学級数 | 18学級 | 17学級 | 17学級 | 14学級 | 14学級 | 17学級 | 15学級 |

※特別支援学級を除く（児童数・学級数）

### ウ 建物概要

| 建物区分  | 南側校舎棟   | 北側校舎棟   |
|-------|---|---|
| 構造・規模 | 鉄筋コンクリート造・3階建て  | 鉄筋コンクリート造・3階建て  |
| 延べ床面積 | 2,836.69㎡（建築基準法）  | 4,878.58㎡（建築基準法）  |
| 施設構成  | 普通教室 1室<br>特別教室 4室<br>管理諸室 3室<br>屋内運動場<br>〔バスケットコート、バレーコート 2面〕<br>〔バドミントンコート 3面〕<br>プール（25m×5コース）<br>放課後児童クラブ | 普通教室 16室（特支2室含）<br>特別教室 12室<br>管理諸室 12室<br>エレベーター 1基（11人乗り） |
|       | 太陽光発電設備<br>雨水利用システム   |   |
| 施工時期  | 平成29～30年度   | 平成30～31年度   |

(2) 事業費内訳

| 区 分        | 予算額 (千円) | 内 容            |
|------------|----------|----------------|
| 南側校舎棟建設工事  | 133,160  | 屋内運動場、プールの建設工事 |
| 事務費        | 240      | 学校建設等に係る事務費    |
| 小 計 (継続費)  | 133,400  |                |
| 仮設校舎 (リース) | 89,200   | 仮設校舎等の賃貸借費用    |
| 初度調弁 (新規)  | 26,900   | 新校舎物品の購入費      |
| 合 計        | 249,500  |                |

3 財源内訳

| 事業費     | 財 源 内 訳 |      |         |     |        |
|---------|---------|------|---------|-----|--------|
|         | 国庫支出金※1 | 県支出金 | 地方債※2   | その他 | 一般財源   |
| 千円      | 千円      | 千円   | 千円      | 千円  | 千円     |
| 249,500 | 32,600  | —    | 161,100 | —   | 55,800 |

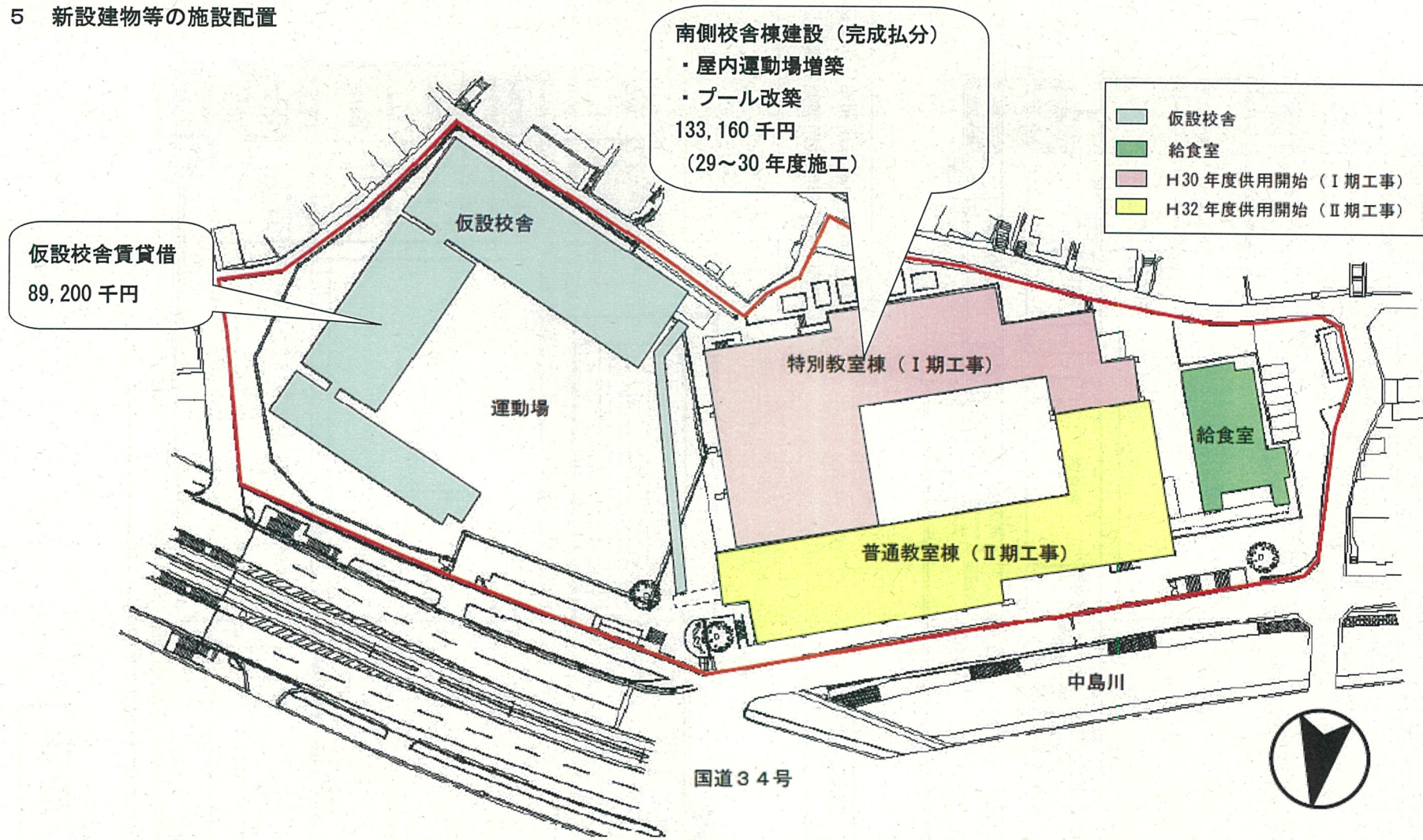
※1 公立学校施設整備費国庫負担金 (負担率: 1/2)、学校施設環境改善交付金 (補助率: 1/3)

※2 学校教育施設等整備事業債 (充当率: 90%、75%)

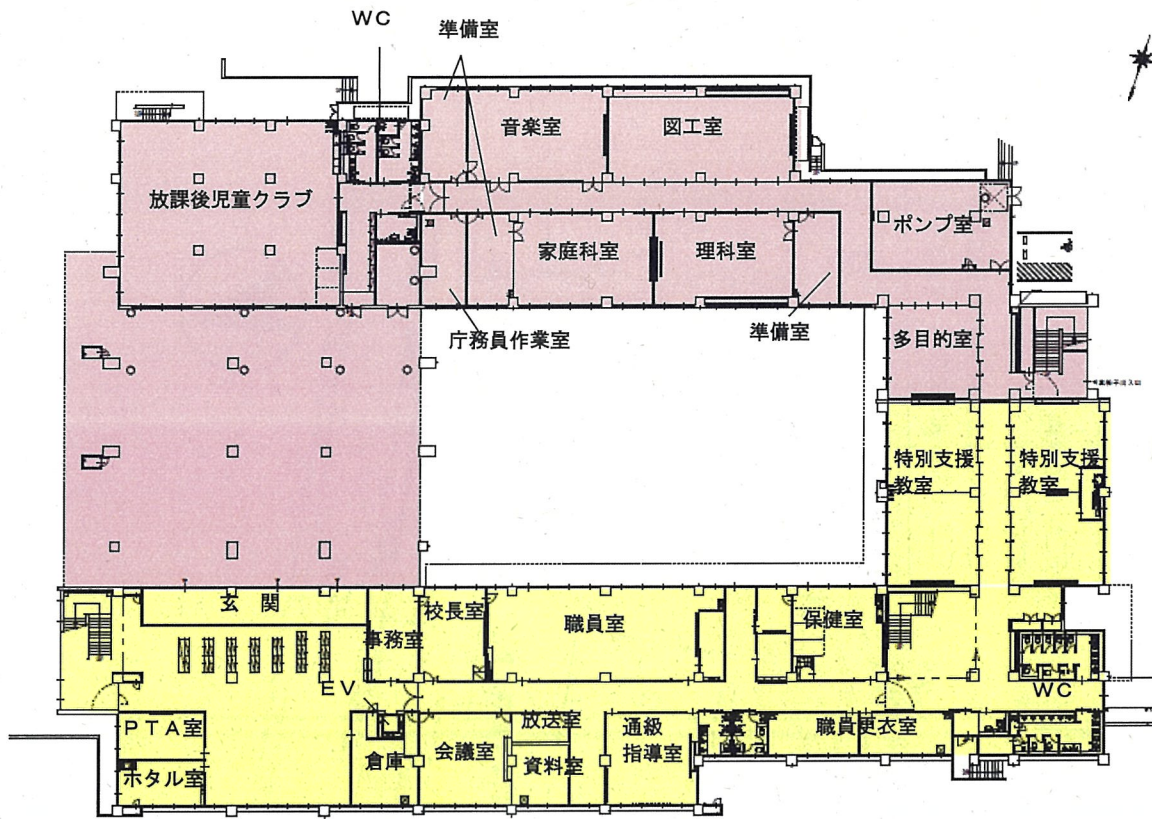
4 全体スケジュール (予定を含む)

|           |  |
|-----------|--|
| 平成 27 年度  | 基本設計、耐力度調査、土質調査  |
| 平成 28 年度  | 実施設計、法定外公共物廃止登記業務委託、<br>体育倉庫・<br>屋外便所解体等工事、仮設校舎建設工事  |
| 平成 28 年度  | 既存校舎等解体工事 (I 期)、給食室移設工事、用地測量業務委託   |
| ～平成 29 年度 | 特別教室棟・屋内運動場・プール改築工事 (I 期)  |
| 平成 30 年度  | 特別教室棟・屋内運動場・プール改築工事 (I 期)<br><u>特別教室棟・屋内運動場・プール供用開始 (H31.1 月予定)</u><br>既存校舎等解体工事 (II 期)、普通教室棟改築工事 (II 期) |
| 平成 31 年度  | 普通教室棟改築工事 (II 期)、グラウンド設計   |
| 平成 32 年度  | <u>普通教室棟供用開始 (H32.4 月予定)</u><br>体育倉庫・屋外便所整備工事、グラウンド整備等工事   |

5 新設建物等の施設配置

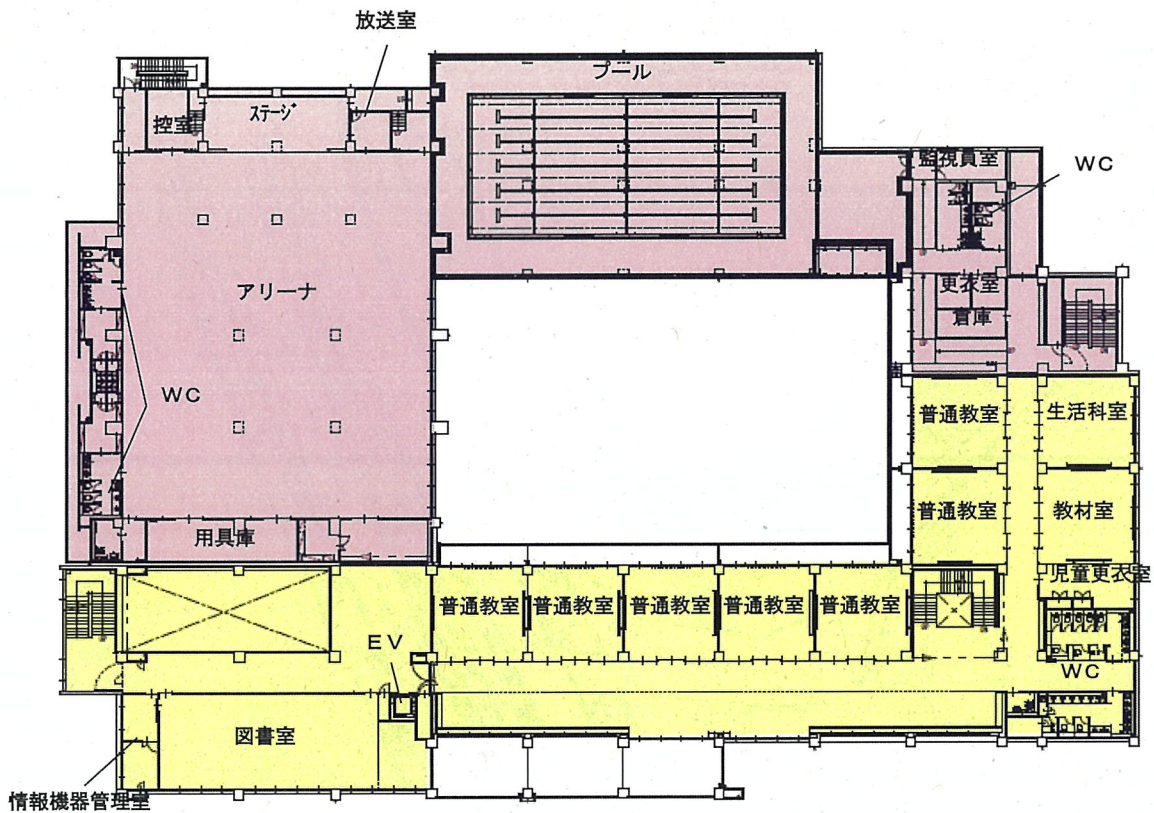


全体配置図

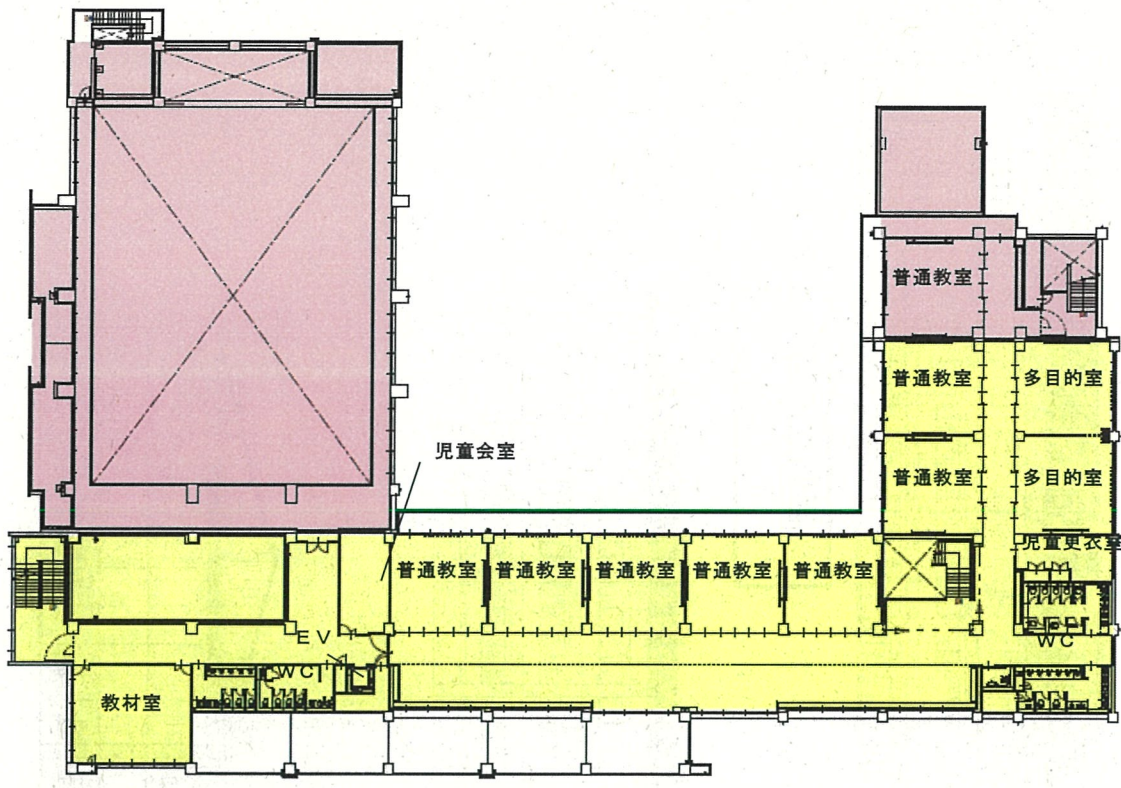


新校舎 1階平面図

- H30年度供用開始 (I工区)
- H32年度供用開始 (II工区)

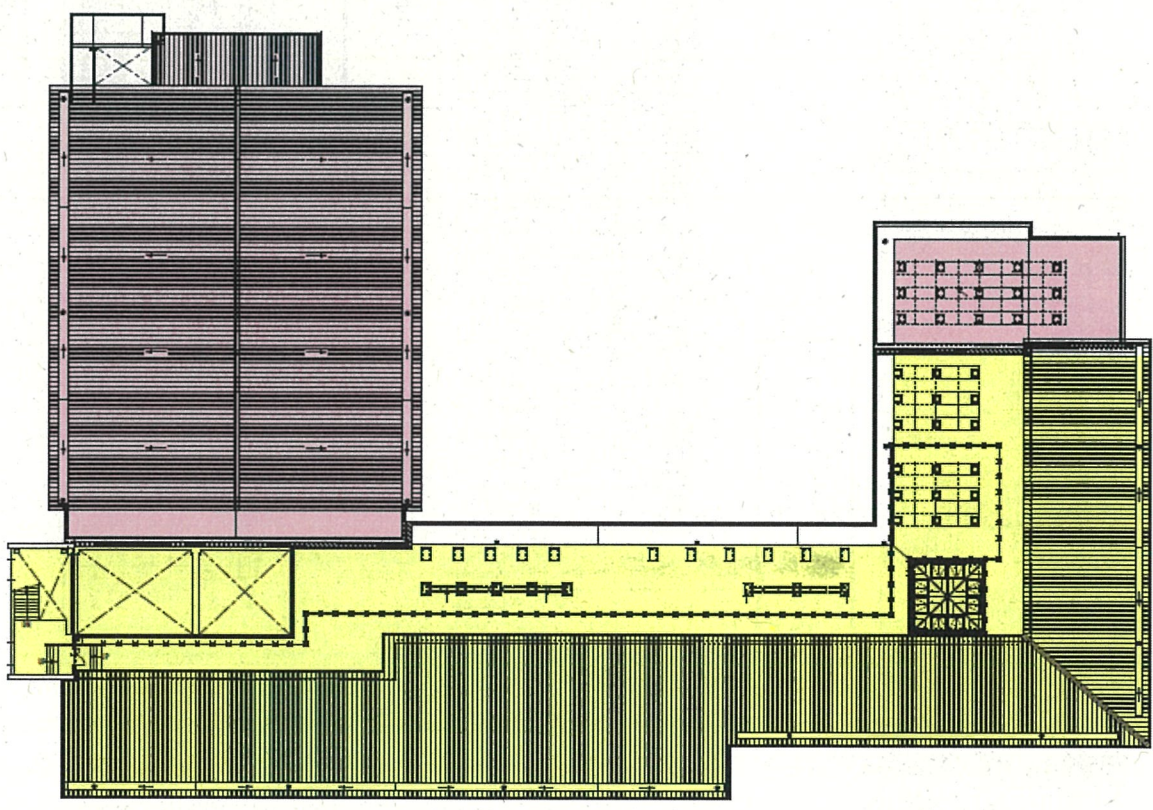


新校舎 2階平面図

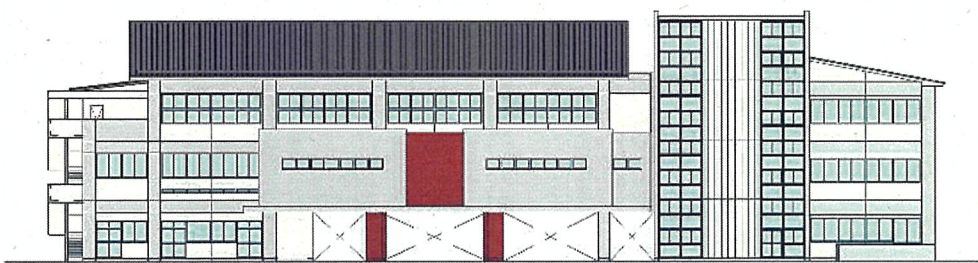


新校舎 3階平面図

|  |                    |
|--|--------------------|
|  | H30 年度供用開始 (I 工区)  |
|  | H32 年度供用開始 (II 工区) |



新校舎 屋上平面図



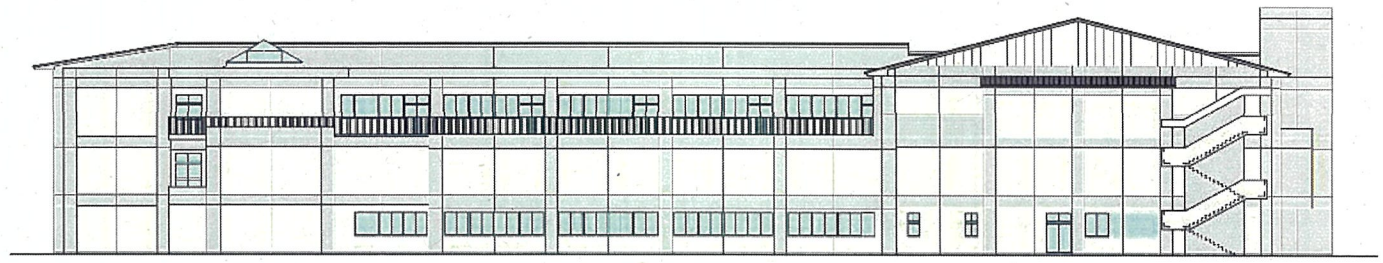
東側立面図



西側立面図



北側立面図



南側立面図

# 完成イメージ







| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名                      | 予 算 額<br>(債務負担行為)        |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|----------------------------|--------------------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                            |                          |
| 286~<br>287 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 4<br>学校建設費 | 2-3 | 【補助】小学校整備事業費<br>外海黒崎小プール改築 | 千円<br>72,300<br>(94,200) |

### 1 概 要

外海黒崎小学校のプール施設は、老朽化が顕著であるため、プールを改築し、教育環境の改善を図る。なお、改築にあたっては、外海中学校と併用できる整備を行う。

### 2 事業内容及び事業費内訳

平成30年度は、既存プール解体、新プールの建設を実施する。

#### (1) 学校施設

ア 規模（平成29年5月1日現在） 【長崎県学級編成基準】

外海黒崎小学校 児童数 47人 学級数4クラス（特別支援クラスなし）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計（通常学級） 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計）

（H29.5.1現在）

| 年 度 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 児童数 | 47人 | 44人 | 48人 | 48人 | 47人 | 45人 | 41人 |
| 学級数 | 4学級 | 4学級 | 4学級 | 4学級 | 5学級 | 4学級 | 5学級 |

#### (2) 事業費内訳

| 区分     | 予算額（千円） | 内 容                                 |
|--------|---------|-------------------------------------|
| プール解体  | 9,500   | 既存プール解体                             |
| 新プール建設 | 62,800  | 25m×5コース 水面積275㎡<br>前金払い相当分（40%）を計上 |
| 計      | 72,300  |                                     |

### 3 全体スケジュール（予定）

|               |                |
|---------------|----------------|
| 平成29年度        | 土質調査、測量調査、実施設計 |
| 平成30年度        | 既存プール解体        |
| 平成30年度～平成31年度 | 新プール改築         |
| 平成31年6月       | 供用開始予定         |

### 4 財源内訳

| 事 業 費  | 財 源 内 訳 |      |        |     |      |
|--------|---------|------|--------|-----|------|
|        | 国庫支出金※1 | 県支出金 | 地方債※2  | その他 | 一般財源 |
| 千円     | 千円      | 千円   | 千円     | 千円  | 千円   |
| 72,300 | 9,397   | —    | 62,900 | —   | 3    |

※1 学校施設環境改善交付金（補助率1/3） ※2 過疎対策事業債（充当率：100%）

## 5 債務負担行為

| 債務負担行為  |                | 期 間      | 限度額          |
|---------|----------------|----------|--------------|
| ページ     | 事項             | 平成 31 年度 | 千円<br>94,200 |
| 344～345 | 外海黒崎小学校プール改築事業 |          |              |

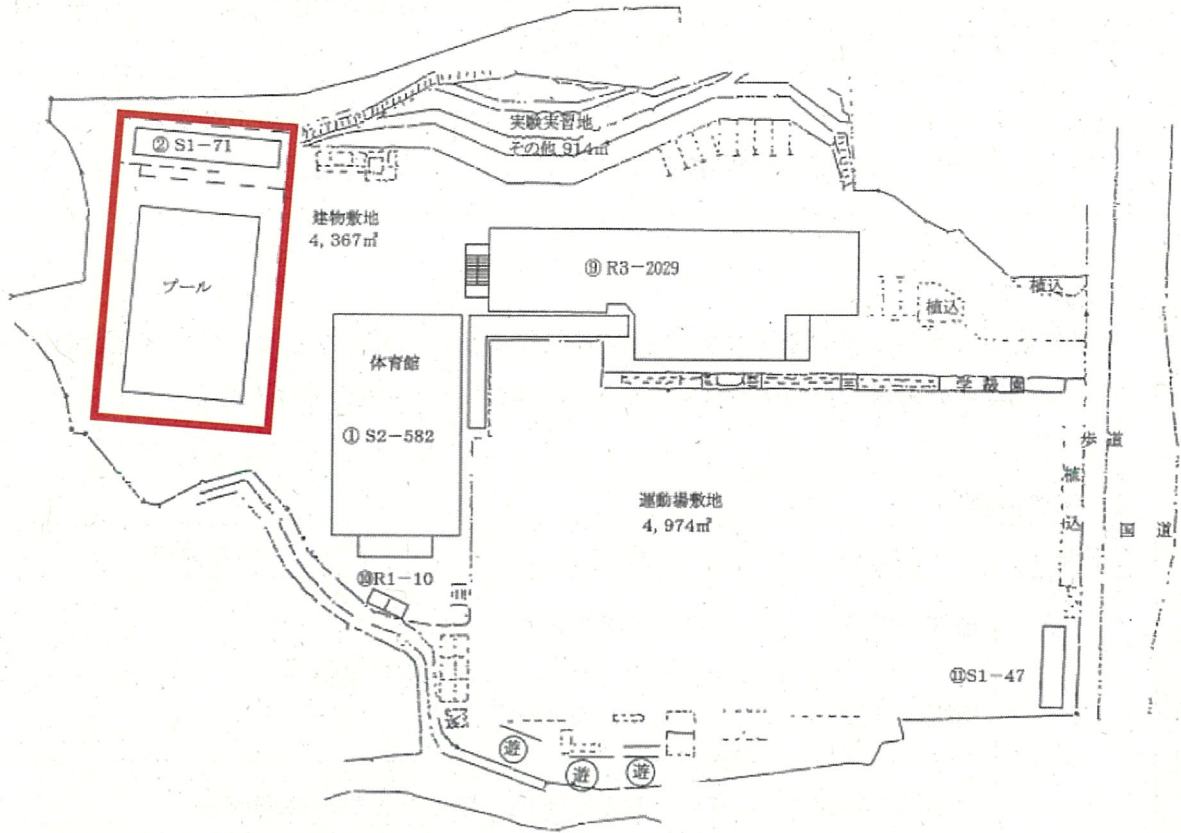
### (1) 債務負担行為の目的

プール改築工事における児童生徒への影響を最小限に抑えるため、プールを使用しない平成30年12月～平成31年6月の期間に、新プール建設を行う必要があることから、平成31年度の事業費について債務負担行為の設定を行うもの。

## 6 外海地区小中学校 位置図

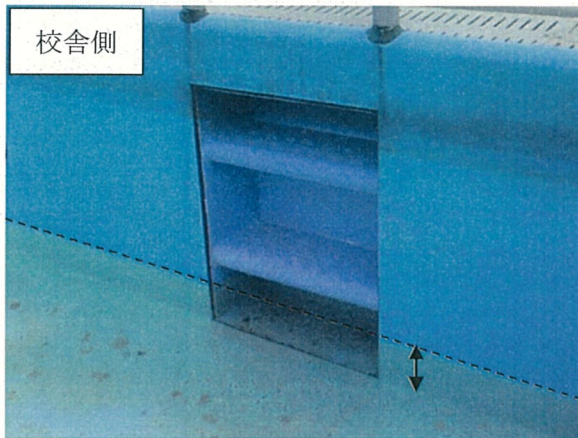


7 外海黒崎小学校 配置図



8 現況写真

(プールの傾きによる水位の差)



(地盤沈下によるヒビ割れ)



| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名                 | 予 算 額         |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|-----------------------|---------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                       |               |
| 286～<br>287 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 4<br>学校建設費 | 2-4 | 【補助】小学校整備事業費<br>大規模改造 | 千円<br>217,000 |

### 1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置及び内部改修などにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

### 2 事業内容

| 学校区分 | 学校名    | 事業費       | 事業内容        |
|------|--------|-----------|-------------|
| 小学校  | 稲佐小学校  | 55,700千円  | 校舎の外壁改修     |
|      | 南陽小学校  | 54,400千円  |             |
|      | 南長崎小学校 | 30,500千円  | 屋内運動場の外壁改修  |
|      | 村松小学校  | 71,500千円  | エレベーター設置工事  |
|      | 桜が丘小学校 | 4,800千円   | トイレ和式便器の洋式化 |
|      | 事務費    | 100千円     | 消耗品、印刷製本費等  |
| 合計   |        | 217,000千円 |             |

<大規模改造で実施する外壁改修について>

児童生徒の安全対策として、建築基準法第12条に基づく点検で指摘された中で、外壁や庇の崩壊等の危険性があり、小規模修繕で対応できない全面的な改修を行う必要がある学校を優先的に実施する。

### 3 財源内訳

| 事 業 費         | 財 源 内 訳      |         |               |         |              |
|---------------|--------------|---------|---------------|---------|--------------|
|               | 国庫支出金※1      | 県支出金    | 地方債※2         | その他     | 一般財源         |
| 千円<br>217,000 | 千円<br>53,613 | 千円<br>— | 千円<br>122,500 | 千円<br>— | 千円<br>40,887 |

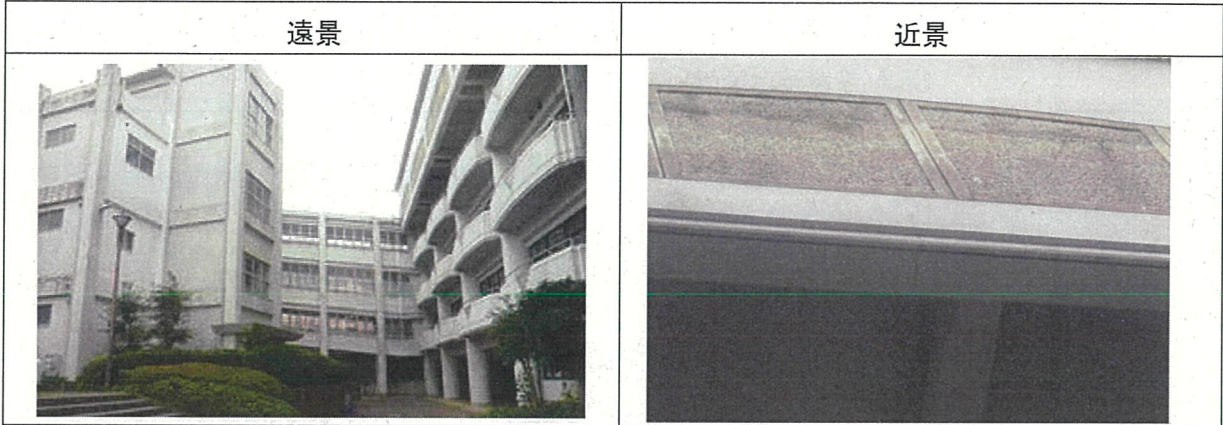
※1 学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率75%）

#### 4 その他(現況写真等)

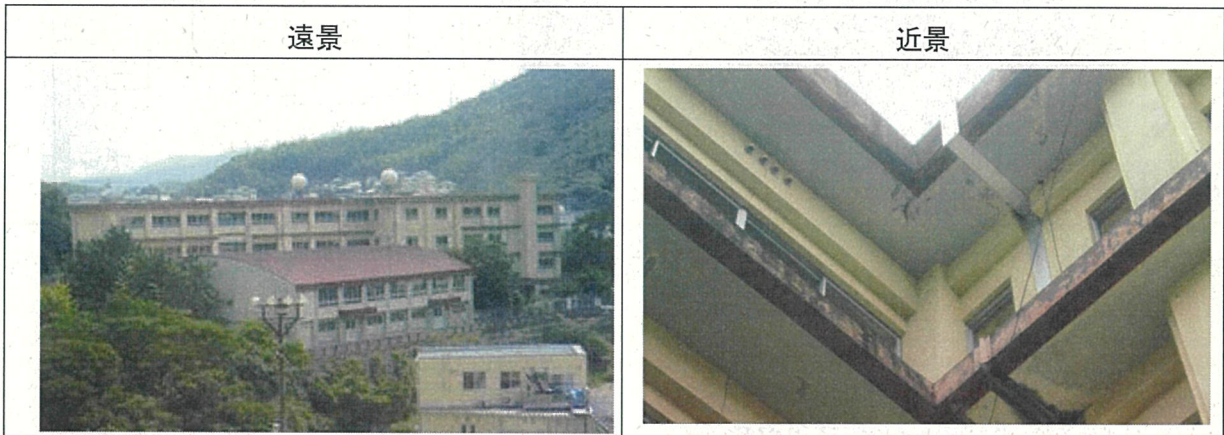
##### (1) 稲佐小学校校舎外壁改修工事

- ① 建築年月: 平成 4 年 8 月 (25 年経過)
- ② 現 況: 外壁に亀裂及び雨漏りが発生している。
- ③ 工 期: 約 4 ヶ月



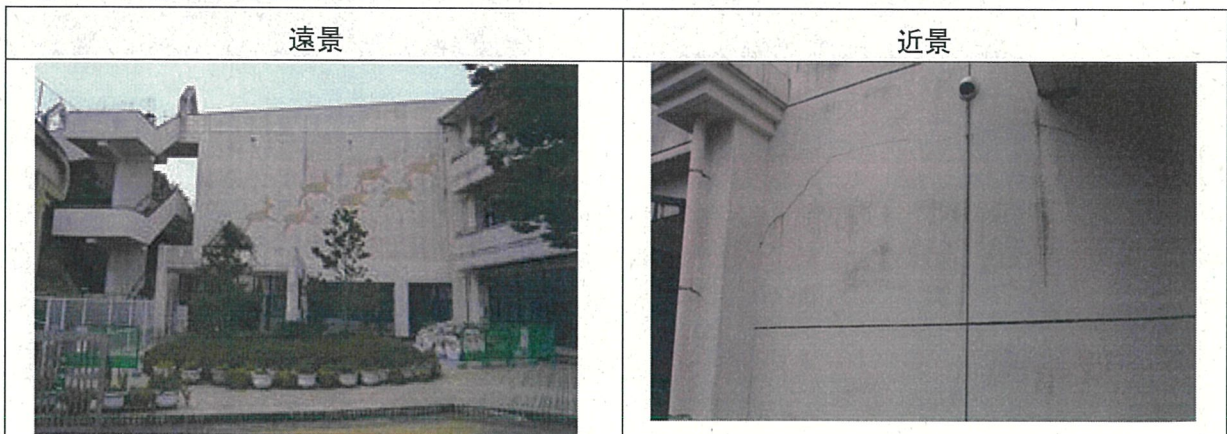
##### (2) 南陽小学校校舎外壁改修工事

- ① 建築年月: 昭和 54 年 3 月 (39 年経過)
- ② 現 況: 老朽化により外壁・庇に亀裂が生じている。
- ③ 工 期: 約 4 ヶ月



##### (3) 南長崎小学校屋内運動場外壁改修工事

- ① 建築年月: 昭和 62 年 3 月 (31 年経過)
- ② 現 況: 老朽化により外壁に亀裂が生じている。
- ③ 工 期: 約 4 ヶ月



(4) 村松小学校エレベーター設置工事

- ① 建築年月：昭和 54 年 2 月（38 年経過）
- ② 構造：鉄筋コンクリート造 3 階建
- ③ 児童数：424 人（平成 29 年 5 月 1 日現在）
- ④ 肢体不自由児在籍状況： 3 名
- ⑤ 工期：約 4 ヶ月



(村松小学校 配置図)

(5) 桜が丘小学校トイレ洋式化改修工事

- ① 工期：約 2 ヶ月



## 長崎市立小中学校施設におけるエレベーターの設置方針について

### 小中学校施設におけるエレベーターの設置方針

● 学校施設は子供たちのみならず、保護者や地域住民が集う地域コミュニティの拠点としての性格を有するため、施設のバリアフリー化対策として次によりエレベーターの設置を図る。

① 校舎の新築・改築・増築の際に、エレベーター1基を設置する。

② エレベーターの大きさは、自力で車イスの転回ができる11人乗りを基本とする。

なお、既存校については、全ての学校を一度の整備は難しいため、肢体不自由の児童生徒(重度、中度)が在学、又は在学が見込まれる学校については、全体の優先順位等を勘案しながら設置を検討する。

(肢体不自由児在籍状況、地元小中学校への進学意向、統廃合計画、建物の構造など)

※ 学校の構造・敷地等の問題によりエレベーターを設置できない学校や、緊急的な対応により必要な場合は、可搬型階段昇降機を整備しています。

### エレベーター設置校

### H30.2現在

| No | 小学校名 | 設置年度     |
|----|------|----------|
| 1  | 大浦小  | H24設置    |
| 2  | 高城台小 | H24設置    |
| 3  | 桜町小  | H15設置    |
| 4  | 上長崎小 | H26設置    |
| 5  | 戸石小① | H26～27設置 |
| 5  | 戸石小② | H26～27設置 |
| 6  | 小櫛小  | H28改築    |
| 7  | 桜が丘小 | H29設置    |
|    | 村松小  | H30設置予定  |

| No | 中学校名  | 設置年度  |
|----|-------|-------|
| 1  | 東長崎中  | H25設置 |
| 2  | 野母崎小中 | H26改築 |
| 3  | 橘中    | H28設置 |
| 4  | 琴海中   | H12設置 |

| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名                     | 予 算 額       |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|---------------------------|-------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                           |             |
| 286～<br>287 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 4<br>学校建設費 | 3-1 | 【単独】小学校整備事業費<br>西浦上小校舎等改築 | 千円<br>7,100 |

### 1 概 要

西浦上小学校は、最も古い校舎が建設から64年を経過していること、屋内運動場やプールについても老朽化が進んでいることから、全面的な建て替えが必要であり、校舎等の建て替えに向けた調査等を行うものである。

### 2 事業内容及び事業費内訳

平成30年度に、建て替えに向けた耐力度調査、土質調査、登記測量を行う。

#### (1) 学校施設

ア 規模（平成29年5月1日現在） 【長崎県学級編成基準】

西浦上小学校 生徒数 817人 学級数 25クラス（特別支援2クラス含む）

イ 生徒数・学級数の現状及び将来推計（通常学級） 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計） 西浦上小 (H29.5.1現在)

| 年 度 | H29  | H30  | H31  | H32  | H33  | H34  | H35  |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 生徒数 | 807人 | 754人 | 714人 | 720人 | 679人 | 656人 | 628人 |
| 学級数 | 23学級 | 22学級 | 21学級 | 21学級 | 20学級 | 19学級 | 18学級 |

#### (2) 事業費内訳

| 区分  | 予算額（千円） | 内 容                                       |
|-----|---------|---|
| 委託料 | 6,800   | 耐力度調査 700千円、土質調査 3,000千円、<br>登記測量 3,100千円 |
| 事務費 | 300     | 消耗品費、印刷製本費                                |
| 計   | 7,100   |   |

### 3 スケジュール（予定）

平成30年度 耐力度調査、土質調査、登記測量  
事業手法の決定

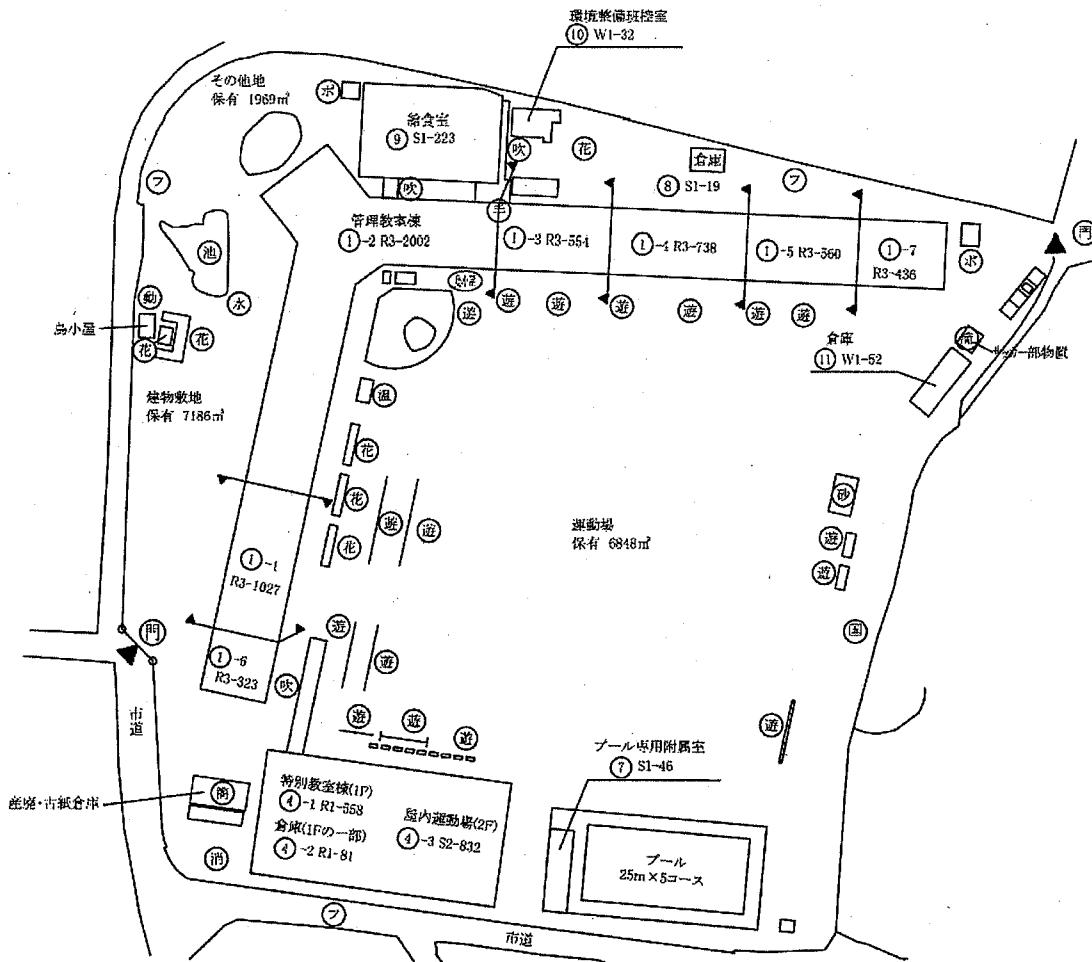
### 4 財源内訳

| 事 業 費 | 財 源 内 訳 |      |       |     |       |
|-------|---------|------|-------|-----|-------|
|       | 国庫支出金   | 県支出金 | 地方債※  | その他 | 一般財源  |
| 千円    | 千円      | 千円   | 千円    | 千円  | 千円    |
| 7,100 |         | —    | 2,200 | —   | 4,900 |

※ 学校教育施設等整備事業債（充当率：75%）



## 5 現西浦上小学校の施設配置及び概要

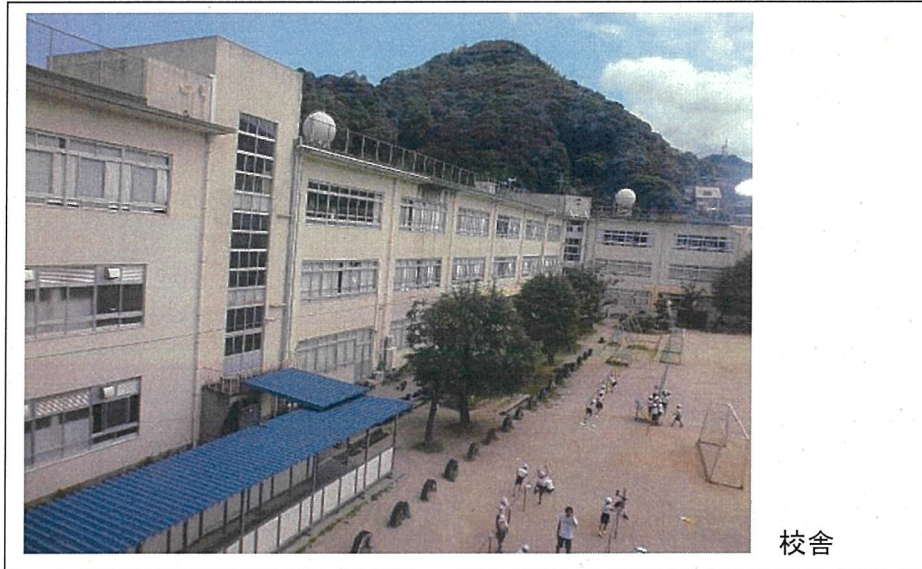


施設の概要 (平成 29 年 5 月 1 日現在)

| 番号  | 建物区分   | 構造  | 階数  | 面積     | 建設年月     | 経過年数 |
|-----|--------|-----|-----|--------|----------|------|
| ①-1 | 校舎     | RC造 | 3階建 | 1,027㎡ | 昭和29年3月  | 64年  |
| ①-2 | 校舎     | RC造 | 3階建 | 2,002㎡ | 昭和30年3月  | 63年  |
| ①-3 | 校舎     | RC造 | 3階建 | 554㎡   | 昭和31年10月 | 61年  |
| ①-4 | 校舎     | RC造 | 3階建 | 738㎡   | 昭和32年3月  | 61年  |
| ①-5 | 校舎     | RC造 | 3階建 | 560㎡   | 昭和34年3月  | 59年  |
| ①-6 | 校舎     | RC造 | 3階建 | 323㎡   | 昭和34年3月  | 59年  |
| ①-7 | 校舎     | RC造 | 3階建 | 436㎡   | 昭和39年3月  | 54年  |
| ④-1 | 1F 校舎  | RC造 | 2階建 | 558㎡   | 昭和40年3月  | 53年  |
| ④-2 | 1F 倉庫  | RC造 | 2階建 | 81㎡    | 昭和44年3月  | 49年  |
| ④-3 | 2F 体育館 | S造  | 2階建 | 832㎡   | 昭和44年3月  | 49年  |
| ⑧   | 校舎     | S造  | 1階建 | 19㎡    | 昭和54年12月 | 38年  |
| ⑨   | 給食室    | S造  | 1階建 | 223㎡   | 昭和61年11月 | 31年  |
| ⑩   | 校舎     | W造  | 1階建 | 32㎡    | 平成2年3月   | 28年  |
| ⑪   | 倉庫     | W造  | 1階建 | 52㎡    | 平成13年8月  | 16年  |
| ⑦   | プール附属室 | S造  | 1階建 | 46㎡    | 昭和50年6月  | 42年  |
|     | プール    | RC製 | —   | 275㎡   | 昭和50年6月  | 42年  |

※RC造は鉄筋コンクリート造、S造は鉄骨造、W造は木造、プールの面積は水面積

6 現西浦上小学校の現況写真



| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名                   | 予 算 額        |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|-------------------------|--------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                         |              |
| 286～<br>287 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 4<br>学校建設費 | 3-2 | 【単独】小学校整備事業費<br>小島小取付道路 | 千円<br>21,000 |

### 1 概 要

小島小学校は、校舎の老朽化が進んでおり、改築を行いたい、同小学校の周辺道路は狭隘で、工事車両等が進入できない状況である。

このことから、車両等が進入できるよう学校用地の新規取得を行い、取付道路を整備する。

### 2 事業内容及び事業費内訳

平成30年度は、取付道路建設に係る測量設計等を行う。

#### (1) 学校施設

ア 規模（平成29年5月1日現在）【長崎県学級編成基準】

児童数 267人 学級数 12クラス（特別支援2クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計（通常学級）【長崎県学級編成基準】（H29.5.1現在）

（学年進行による推計）

| 年 度 | H29  | H30  | H31  | H32  | H33  | H34  | H35  |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 児童数 | 257人 | 267人 | 285人 | 300人 | 299人 | 322人 | 358人 |
| 学級数 | 11学級 | 12学級 | 12学級 | 12学級 | 12学級 | 13学級 | 13学級 |

#### (2) 事業費内訳

| 区 分      | 予算額（千円） | 内 容           |
|----------|---------|---------------|
| 取付道路測量設計 | 21,000  | 測量及び概略設計、土質調査 |
| 計        | 21,000  |               |

### 3 スケジュール（予定を含む）

平成28年度 用地測量、建物調査、土地鑑定評価

平成29年度～平成30年度 用地買収・補償契約

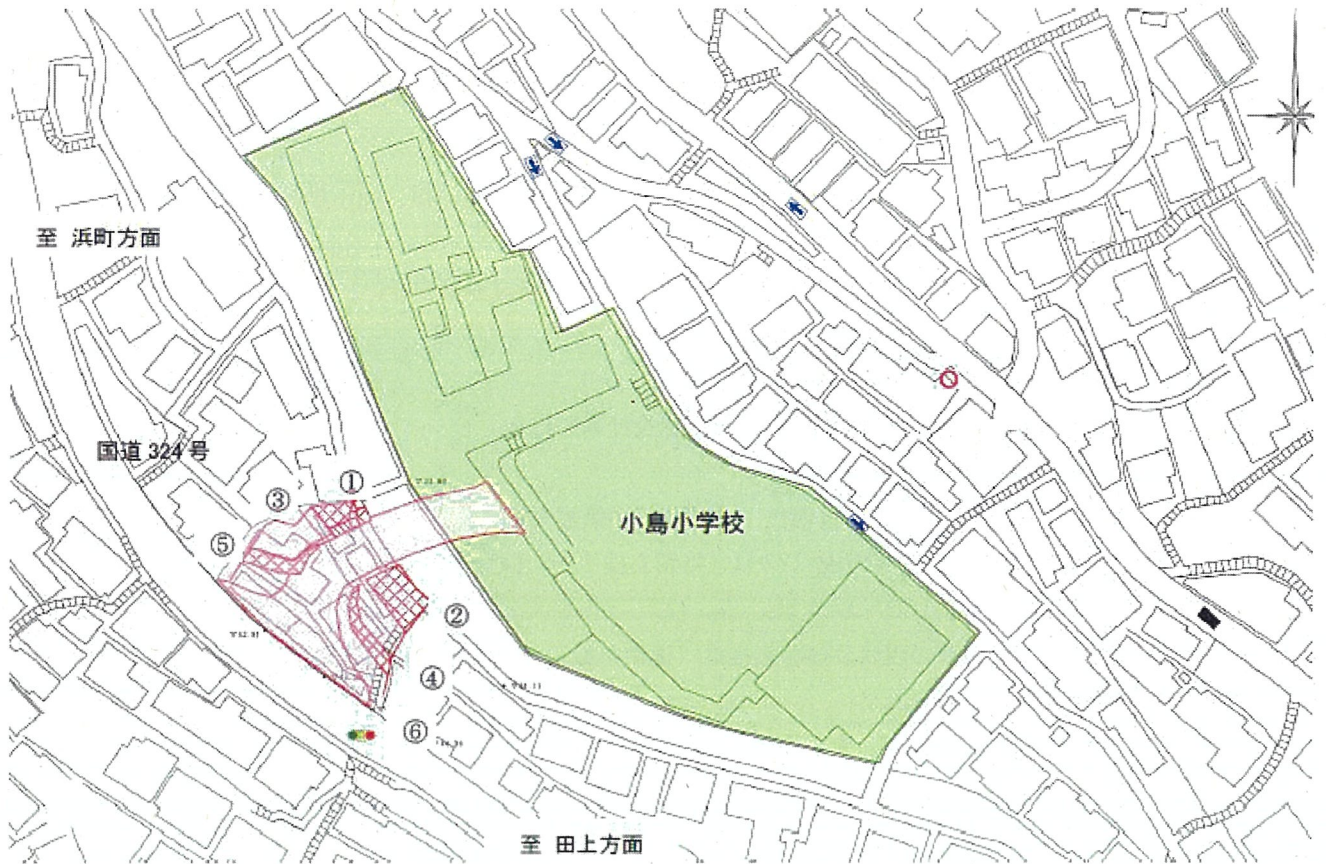
平成30年度以降 取付道路測量設計、用地測量設計、基本・実施設計、新校舎建設等

### 4 財源内訳

| 事 業 費        | 財 源 内 訳 |         |              |     |             |
|--------------|---------|---------|--------------|-----|-------------|
|              | 国庫支出金   | 県支出金    | 地方債※1        | その他 | 一般財源        |
| 千円<br>21,000 | 千円<br>- | 千円<br>- | 千円<br>15,700 | 千円  | 千円<br>5,300 |

※1 学校教育施設等整備事業債（充当率：75%）

## 5 取付道路イメージ図及び用地交渉経過



### 用地交渉経過

|   |                            |
|---|----------------------------|
| ① | 平成 29 年 10 月 10 日 契約済み     |
| ② | 平成 29 年 10 月 10 日 契約済み     |
| ③ | 地権者と交渉中<br>※家屋の賃借人有り (交渉中) |
| ④ | 平成 29 年 10 月 12 日 契約済み     |
| ⑤ | 地権者と交渉中<br>※家屋の賃借人有り (交渉中) |
| ⑥ | 地権者と交渉中<br>※土地の賃借人有り (交渉中) |

| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名                 | 予 算 額        |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|-----------------------|--------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                       |              |
| 286～<br>287 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 4<br>学校建設費 | 3-3 | 【単独】小学校整備事業費<br>大規模改造 | 千円<br>39,000 |

### 1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置及び内部改修などにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

なお、本事業の屋上防水改修は補助事業で行う外壁改修工事に伴い行うものである。

### 2 事業内容

| 学校区分 | 学校名   | 事業費      | 改修内容           |
|------|-------|----------|----------------|
| 小学校  | 稲佐小学校 | 12,600千円 | 校舎の屋上防水改修      |
|      | 橘小学校  | 26,400千円 | カーペット床のフローリング化 |
| 合計   |       | 39,000千円 |                |

### 3 財源内訳

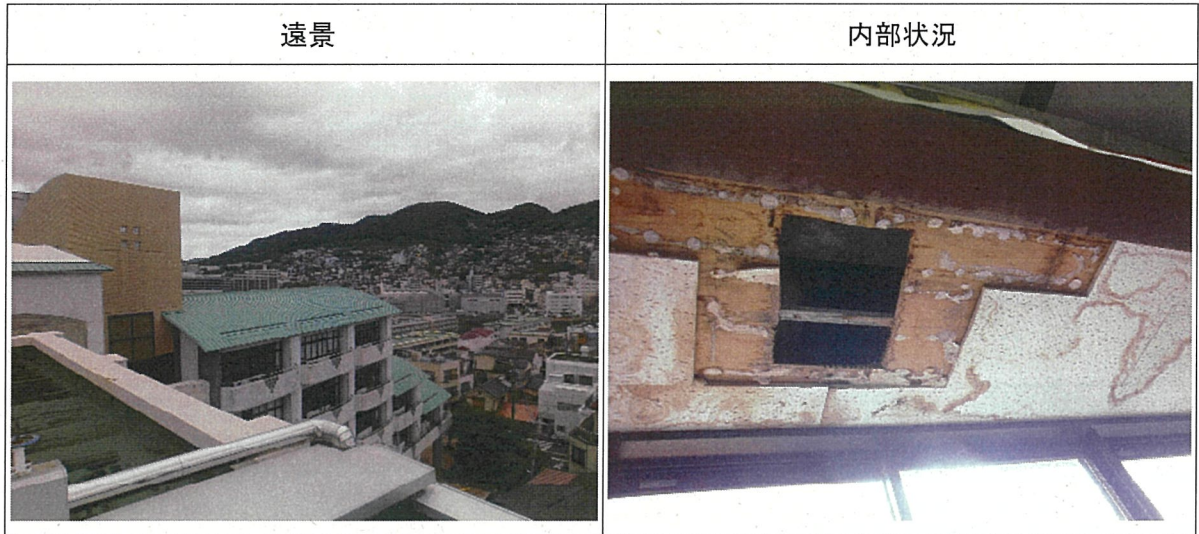
| 事 業 費        | 財 源 内 訳 |         |              |         |             |
|--------------|---------|---------|--------------|---------|-------------|
|              | 国庫支出金   | 県支出金    | 地方債※         | その他     | 一般財源        |
| 千円<br>39,000 | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>29,200 | 千円<br>— | 千円<br>9,800 |

※ 学校教育施設等整備事業債（充当率：75%）

#### 4 その他(現況写真等)

##### (1) 稲佐小学校校舎屋上防水改修工事

- ① 建築年月: 平成 4 年 8 月 (25 年経過)
- ② 現況: 屋根の腐食により、雨漏りが発生している。
- ③ 工期: 約 3 ヶ月



##### (2) 橘小学校カーペット床改修工事

- ① 建築年月: 昭和 62 年 3 月 (31 年経過)
- ② 現況: 床がカーペットのためカビ・ダニなどが発生し、衛生上良くない状態である。
- ③ 工期: 約 3 ヶ月



| 予 算 説 明 書   |           |           |            |     | 事 業 名               | 予 算 額        |
|-------------|-----------|-----------|------------|-----|---------------------|--------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目          | 番号  |                     |              |
| 286～<br>287 | 10<br>教育費 | 2<br>小学校費 | 4<br>学校建設費 | 3-4 | 【単独】小学校整備事業費<br>諸工事 | 千円<br>74,000 |

### 1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置及び内部改修などにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

なお、本事業の屋上防水及び屋根改修は補助事業で行う外壁改修工事に伴い行うものである。

### 2 事業内容

| 学校区分 | 学校名    | 事業費      | 改修内容  |
|------|--------|----------|---|
| 小学校  | 南陽小学校  | 17,400千円 | 校舎の屋上防水改修                                     |
|      | 南長崎小学校 | 9,120千円  | 屋内運動場の屋根改修                                    |
|      | 戸石小学校  | 9,400千円  | 校舎内部改修(児童数の増加に伴い、現在使用していない多目的室を普通教室へ改修を行うもの。) |
|      | 畝刈小学校  | 14,400千円 | プール床改修  |
|      | 高尾小学校  | 2,880千円  | トイレ和式便器の洋式化                                   |
|      | 戸石小学校  | 2,880千円  |   |
|      | 大園小学校  | 3,840千円  |   |
|      | 滑石小学校  | 3,840千円  |   |
|      | 北陽小学校  | 3,200千円  |   |
|      | 茂木小学校  | 3,840千円  |   |
|      | 古賀小学校  | 3,200千円  |   |
| 合 計  |        | 74,000千円 |   |

### 3 財源内訳

| 事 業 費        | 財 源 内 訳 |         |              |         |              |
|--------------|---------|---------|--------------|---------|--------------|
|              | 国庫支出金   | 県支出金    | 地方債※         | その他     | 一般財源         |
| 千円<br>74,000 | 千円<br>— | 千円<br>— | 千円<br>55,500 | 千円<br>— | 千円<br>18,500 |

※ 学校教育施設等整備事業債 (充当率:75%)

#### 4 その他(現況写真等)

##### (1)南陽小学校校舎屋上防水改修工事

①建築年月:昭和 54 年 3 月(39 年経過)

②現況:老朽化により屋上の防水層に破損等が見られる。

③工期:約 3 ヶ月

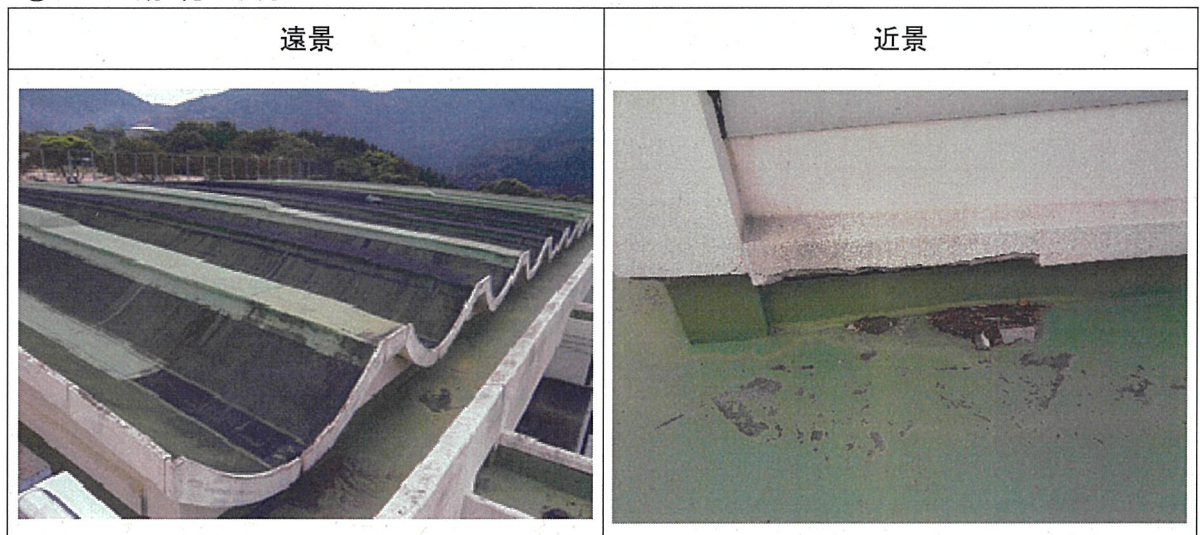


##### (2)南長崎小学校屋内運動場屋根改修工事

①建築年月:昭和 63 年 3 月(30 年経過)

②現況:老朽化により屋上の防水シートに破損等が見られる。

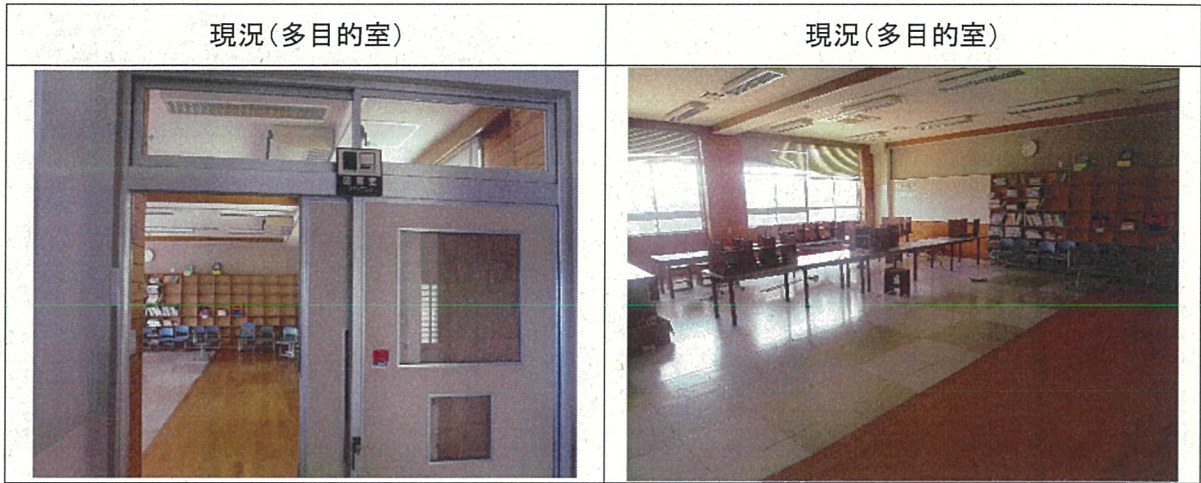
③工期:約 3 ヶ月



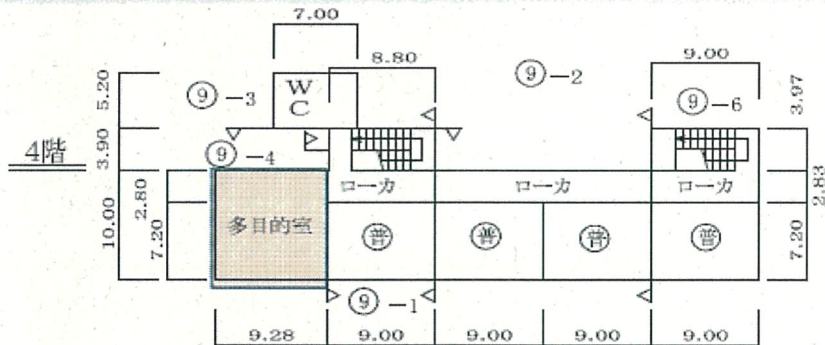


(3) 戸石小学校校舎内部改修工事

- ① 建築年月: 昭和 46 年 3 月 (46 年経過)
- ② 現況: 多目的室を、普通教室仕様として内部改修を行う。
- ③ 工期: 約 3 ヶ月

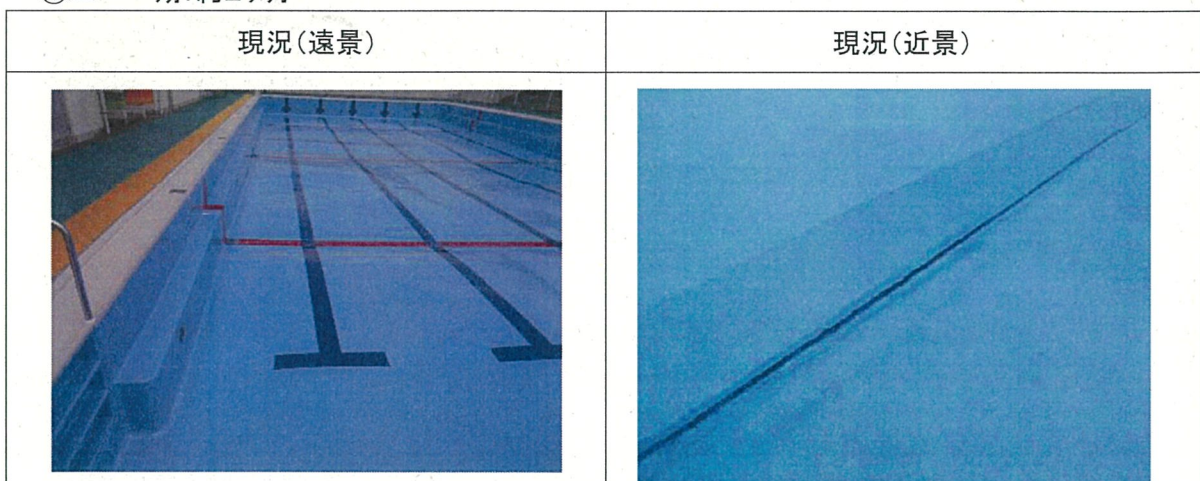


④ 配置図及び改修箇所



(4) 畝刈小学校プール床改修工事

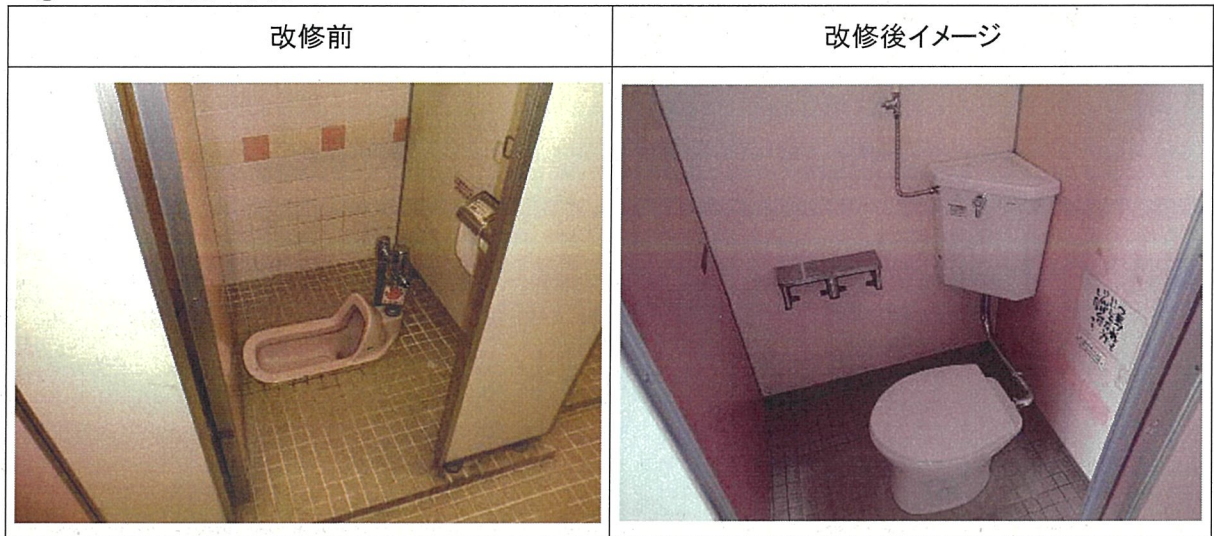
- ① 建築年月: 昭和 63 年 3 月 (29 年経過) FRP製 25m×5コース
- ② 現況: FRP接合部が一部剥離している状況である。
- ③ 工期: 約 2 ヶ月



(5) 高尾小学校ほかトイレ洋式化改修工事

①対象校: 高尾小、戸石小、大園小、滑石小、北陽小、茂木小、古賀小

②工期: 約2ヶ月



| 予 算 説 明 書   |           |           |                  |     | 事 業 名                               | 予 算 額                      |
|-------------|-----------|-----------|------------------|-----|-------------------------------------|----------------------------|
| ページ         | 款         | 項         | 目                | 番号  |                                     |                            |
| 288~<br>289 | 10<br>教育費 | 3<br>中学校費 | 3<br>学校維持<br>補修費 | 1-1 | 中学校維持補修費<br>校舎等維持補修費<br>(うち伊王島中整備分) | 千円<br>110,065<br>(うち5,200) |

## 1 概 要

安全・安心な暮らしの実現のための施策として、教育環境整備を推進するため、学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置及び小規模修繕等を実施する。

このうち、伊王島小学校は耐震化を行っていない学校であり、耐震化されている伊王島中学校の校舎を使用して、伊王島小学校と中学校を併設し、平成31年4月より小学校の学校運営を行う予定である。このことにより必要となる教育環境の整備を実施する。

## 2 事業内容

### (1) 事業費内訳

| 節 名 | 予算額(千円) | 内 容   |
|-----|---------|---|
| 需用費 | 84,989  | 消耗品費、燃料費、トイレ洋式化改修、各所学校修繕料等<br>(うち伊王島小移転に伴う中学校校舎修繕料 5,200千円) |
| 委託料 | 23,192  | 剪定・除草委託料、害虫駆除委託料、プール保守点検委託料、<br>事前調査業務委託料 等                 |
| その他 | 1,884   | 原材料費 等  |
| 合計  | 110,065 |   |

### (2) 伊王島小学校移転に伴う中学校整備内容

現在の小学校にある普通教室3室(複式含む)及び特別支援教室1室を確保するため、中学校の余裕教室や特別教室等を転用・修繕により整備を行う。また、小学生の身長でも対応できるよう階段の手すり、手洗い場、トイレの一部修繕を予定している。

## 3 財源内訳

| 事 業 費   | 財 源 内 訳 |      |     |       |       |         |
|---------|---------|------|-----|-------|-------|---------|
|         | 国庫支出金   | 県支出金 | 地方債 | 使用料※1 | その他※2 | 一般財源    |
| 千円      | 千円      | 千円   | 千円  | 千円    | 千円    | 千円      |
| 110,065 | —       | —    | —   | 25    | 3,840 | 106,200 |

※1 体育館等開放使用料 (25千円)

※2 教育基金繰入金 (3,840千円)

#### 4 伊王島小学校及び伊王島中学校の現況

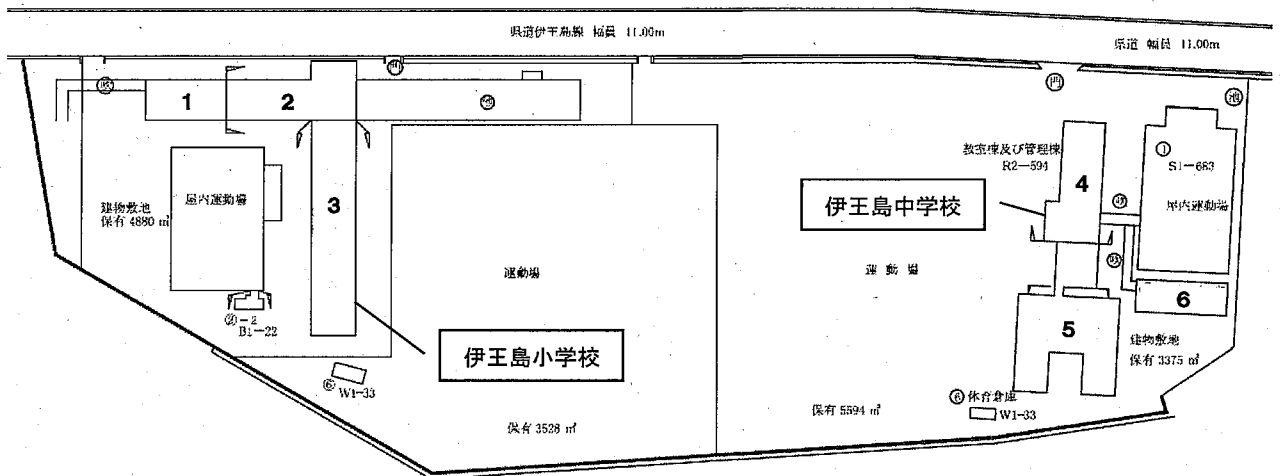
##### (1) 校舎等の状況

ア 伊王島小学校（校舎：鉄筋コンクリート造3階建て、屋体：鉄骨造平屋建て）

| 棟名  | 階数 | 保有面積                 | 建設年月   | 経過年数 | 現況 Is 値 | 耐震補強   |
|-----|----|----------------------|--------|------|---------|--------|
| 校舎1 | 3  | 1,349 m <sup>2</sup> | S35年3月 | 58年  | 0.60    | 未実施    |
| 校舎2 | 3  | 896 m <sup>2</sup>   | S36年2月 | 57年  | 0.58    | 未実施    |
| 校舎3 | 3  | 524 m <sup>2</sup>   | S37年3月 | 56年  | 0.58    | 未実施    |
| 屋体  |    | 795 m <sup>2</sup>   | S47年3月 | 46年  | 1.72    | H24年度済 |

イ 伊王島中学校（校舎：鉄筋コンクリート造2階建て、屋体：鉄骨造平屋建て）

| 棟名  | 階数 | 保有面積               | 建設年月    | 経過年数 | 現況 Is 値 | 耐震補強   |
|-----|----|--------------------|---------|------|---------|--------|
| 校舎4 | 2  | 594 m <sup>2</sup> | S55年2月  | 38年  | 0.77    | 不要     |
| 校舎5 | 2  | 950 m <sup>2</sup> | H1年3月   | 29年  | —       | 対象外    |
| 校舎6 | 2  | 232 m <sup>2</sup> | H6年12月  | 23年  | —       | 対象外    |
| 屋体  |    | 683 m <sup>2</sup> | S39年11月 | 53年  | 2.02    | H22年度済 |



##### (2) 児童生徒数・学級数の現状及び将来推計

ア 伊王島小学校

(H29.5.1現在)

| 年度  | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 児童数 | 18人 | 18人 | 15人 | 13人 | 13人 | 13人 | 13人 |
| 学級数 | 4学級 | 4学級 | 4学級 | 4学級 | 4学級 | 4学級 | 4学級 |

※学級数には複式学級及び特別支援学級を含む。

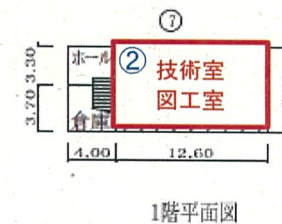
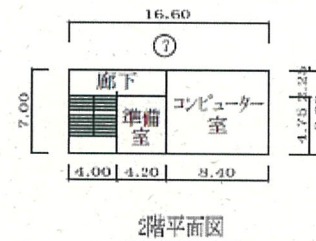
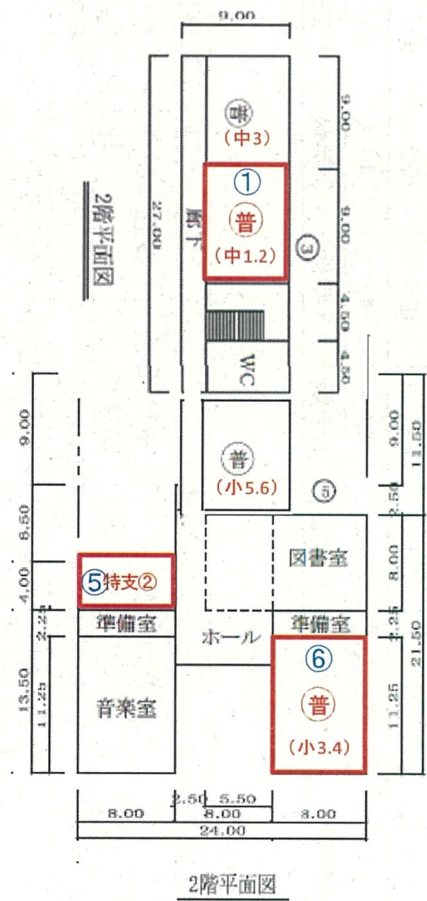
イ 伊王島中学校

(H29.5.1現在)

| 年度  | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 生徒数 | 10人 | 8人  | 9人  | 9人  | 9人  | 8人  | 5人  |
| 学級数 | 3学級 | 3学級 | 3学級 | 3学級 | 3学級 | 3学級 | 2学級 |

※学級数には複式学級及び特別支援学級を含む。

# 伊王島中学校整備計画(案)



- 【教室の転用内容】**
- ①特別支援教室 → 普通教室
  - ②多目的室 → 技術室(図工室)
  - ③技術室 → 普通教室
  - ④技術準備室 → 特別支援教室①
  - ⑤資料室 → 特別支援教室②
  - ⑥美術室 → 普通教室
- 【廃止となる教室等】**
- ・小学校 → 生活科室、児童会室、学習室 → 既存教室で対応
  - ・中学校 → 多目的室、美術室、資料室
- 【その他】**
- ・小学生の身長でも対応できるよう階段の手すり、手洗い・トイレの一部を修繕を予定